STORIES FROM THE CAPITAL

28
ISSUE

2022 夏季号

TAIPEI 台北

エネルギーと情熱

特集記事

100 年続く老舗 伝統の継承と変化の受容

TAIPEI 台北

PICK UP POINTS 本誌は以下の場所で無料で配布してます。

台北市政府觀光傳播局 / 台北市観光伝播局
Department of Information and Tourism, Taipei City Government
☎ (02)2720-8889 / 1999 内線 7564
〒 台北市市府路 1 号 4 階

台湾桃園国際空港第一ターミナル 到着ロビーのトラベルサービスセンター
Tourist Service Center at Arrival Lobby, Taiwan Taoyuan International Airport Terminal 1
☎ (03)398-2194
〒 桃園市大園区航站南路 15 号

台湾桃園国際空港第二ターミナル 到着ロビーのトラベルサービスセンター
Tourist Service Center at Arrival Lobby, Taiwan Taoyuan International Airport Terminal 2
☎ (03)398-3341
〒 桃園市大園区航站南路 9 号

松山車站 / 松山駅
Songshan Station
☎ (02)2767-3819
〒 台北市松山路 11 号

南港車站 / 南港駅
Nangang Station
☎ (02)2783-8645
〒 台北市南港路 1 段 313 号

美國在台協會 / アメリカ在台湾協会
American Institute in Taiwan
☎ (02)2162-2000
〒 台北市金湖路 100 号

遠企購物中心 / 遠企ショッピングセンター
Taipei Metro the Mall
☎ (02)2378-6666 内線 6666
〒 台北市敦化南路 2 段 203 号

國語日報語文中心 / 国語日報語学センター
Mandarin Daily News (Language Center)
☎ (02)2341-8821
〒 台北市福州街 2 号 2 階

台北松山機場 / 台北松山空港
Taipei Songshan Airport
☎ (02)8770-3430
〒 台北市敦化北路 340-9 号

瓶蓋工廠台北製造所 / 瓶蓋工場台北製造所
POPOP TAIPEI
☎ (02)2785-9900
〒 台北市南港路 2 段 13 号

台北美國學校 / 台北アメリカンスクール
Taipei American School
☎ (02)2873-9900
〒 台北市中山北路 6 段 800 号

國立國父紀念館 / 国立国父紀念館
National Dr. Sun Yat-sen Memorial Hall
☎ (02)2758-8008
〒 台北市仁愛路 4 段 505 号

國立中正紀念堂 / 国立中正紀念堂
National Chiang Kai-shek Memorial Hall
☎ (02)2343-1100
〒 台北市中山南路 21 号

台北當代藝術館 / 台北当代芸術館
Museum of Contemporary Art (MoCA), Taipei
☎ (02)2552-3721
〒 台北市長安西路 39 号

市長官邸藝文沙龍 / 市長官邸アートサロン
Mayor's Residence Arts Salon
☎ (02)2396-8198
〒 台北市徐州路 46 号

台北國際藝術村 / 台北国際芸術村
Taipei Artist Village
☎ (02)3393-7377
〒 台北市北平東路 7 号

台北二二八紀念館 / 台北二二八紀念館
Taipei 228 Memorial Museum
☎ (02)2389-7228
〒 台北市凱達格蘭大道 3 号

交通部觀光局旅遊服務中心 / 交通部観光局トラベルサービスセンター
Travel Service Center, Tourism Bureau, M.O.T.C
☎ (02)2717-3737
〒 台北市敦化北路 240 号

台北之家 / 台北之家
Taipei Film House
☎ (02)2511-7786
〒 台北市中山北路 2 段 18 号

台北市政府市民服務組 / 台北市役所市民サービスカウンター
The public service group of Taipei City Government
☎ (02)2720-8889 / 1999 内線 1000
〒 台北市市府路 1 号

士林官邸 / 士林官邸
Chiang Kai-shek Shilin Residence
☎ (02)2883-6340
〒 台北市福林路 60 号

台北市孔廟 / 台北市孔廟
Taipei Confucius Temple
☎ (02)2592-3934
〒 台北市大龍街 275 号

台北記憶倉庫 / 台北記憶倉庫
Taipei Info Hub
☎ (02)2371-4597
〒 台北市忠孝西路 1 段 265 号

松山文創園區 / 松山文化クリエイティブパーク
Songshan Cultural and Creative Park
☎ (02)2765-1388
〒 台北市光復南路 133 号

華山 1914 文化創意產業園區 / 華山 1914 文化クリエイティブパーク
Huashan 1914 Creative Park
☎ (02)2358-1914
〒 台北市八德路 1 段 1 号

國立台湾博物館 / 国立台湾博物館
National Taiwan Museum
☎ (02)2382-2566
〒 台北市襄陽路 2 号

台北市立圖書館 / 台北市立図書館
Taipei Public Library (Main & branches)

台北市旅遊服務中心 / 台北市観光案内所
Visitor Information Centers in Taipei

MRT 各駅
All Stations of MRT Lines

伊是咖啡 / IS コーヒー
Is Coffee

誠品書店 / 誠品書店
eslite Bookstore

金石堂書店 / 金石堂書店
Kingstone Bookstore

EDITOR'S
INTRODUCTION
編集者の言葉

情熱的な台北でクールに過ごす

台北は情熱や熱意を持った人たちが多く集まる都市です。特に夏は気温の高さに加え、イベントに参加する人たちで大いに賑わうなど魅力にあふれています。

そこで今季の《TAIPEI》は、「エネルギーと情熱」をテーマに様々なジャンルの人たちにインタビューを敢行。

例えば台北で 100 年以上続いている老舗が、どのようにして伝統の商品や経営理念を守りつつ、現代のニーズや商習慣の変化に対応しているのかお話を伺いました。

また、夏はクーラーの効いた室内に閉じこもりがちですが、屋外でもクールダウンできるスポットがありますし、品揃えの豊富な夕市での買い物やカフェが併設された博物館の見学などもオススメです。そんな市内のくつろぎスポットを厳選しました。

文化活動の面では、台北で創作活動を続けるアーティストを訪問しているほか、夏には大きなイベントが開催される霞海城隍廟についての情報も特集しています。

さらに今回は食事で体温を下げるという観点から、発汗作用のあるスパイシーな料理、漢方について専門家にお話を伺いつつ、健康的に涼む方法も解説。

情熱という点では、LP レコードの転写を生業とする方、そして台北を多言語に対応した国際的な都市にすることを目標に努力を続ける人たちにお話を伺いました。

湿度と気温が高いことから過ごしにくいと思われがちな夏の台北ですが、今季の《TAIPEI》を読めばイメージも変わるはず。ぜひこの夏は情熱的な台北でクールに過ごしましょう。

TAIPEI からのお知らせ

1. 新型コロナウイルスが流行中です。外出時に必ずマスクを着用し、政府の発表する防疫規定を遵守してください。
2. 本号に掲載されている写真は資料用のものが多く含まれていますので、マスクを着用していない写真も使用されています。

アンケートに答えて
抽選キャンペーンに参加しよう！

写真 / Samil Kuo @台湾文学基地

STORIES FROM THE CAPITAL
2022 夏季号

エネルギーと情熱

COVER STORY

04 100 年続く老舗 伝統の継承と変化の受容

CITY SCENE

14 台北でリフレッシュ 今年の夏のおすすめスポット 5 選

20 クールなリノベーション 台北で探す古い建築物

24 アフターアワーのお買い物ガイド 午後から巡る台北の夕市

CULTURE & LIFESTYLE

32 台北の城隍と夏のイベント

38 台北から世界へ 若きアーティスト LeHo

A CITY FOR CHANGE

44 外国人が住みやすい街「台北」多言語サービスの進化

FOOD & DRINKS

50 夏に最適なスパイシー料理

54 夏の暑さを和らげる薬膳療法

A DAY IN THE LIFE

60 LP レコード転写技師という仕事

TAIPEI 郵政劃撥（郵便振替）での定期購読について / 6 期
振替口座番号 / 16630048
振替口座名義 / 台北市観光伝播局

台湾国内	NT$180 元	（普通郵便で発送）
香港、マカオ	NT$540 元	（航空便で発送）
アジア太平洋地域	NT$660 元	（航空便で発送）
ヨーロッパ / アメリカ / アフリカ地域	NT$900 元	（航空便で発送）

台北市観光伝播局
書面による許可なく本誌の全部または 一部を複製・複写することはできません。

オンライン雑誌：www.travel.taipei/ja
> マルチメディア > TAIPEI

PRINTED WITH SOY INK

本誌は大豆インクを採用ています。

TAIPEI 台北

発行者 / 劉奕霆 **編集長 /** 鄒佳穎 **副編集長 /** 陳其睿 **編集 /** 林婉婷 **マーケティング /** 李宗岳、陳俐雯 **翻訳 /** 下山敬之、吳婕如、陳苡寧
カバーデザイン Broo 品牌釀造室

台北市観光伝播局 **住所** / 台北市市府路 1 号 4 階 **Tel** / 1999（台北市外からは 02-2720-8889）内線 7564 または 7566 **Fax** / (02)2720-5909
Email / taipei_quarterly@mail.taipei.gov.tw **ISSN** / 24137774 **GPN** / 2010402343
本誌に対するご意見、ご要望どがございましたら、是非、E-mail またはファックスにてお寄せください。
デザイン **Taiwan Scene 讓世界愛上台湾股份有限公司** **Tel** / (02)2562-5005 **Fax** / (02)2562-5505
中華郵政台北雑字 第 1377 號執照登記為雜誌交寄 / **本号定価 NT$30 元**

100年続く老舗
伝統の継承と変化の受容

文：Rick Charette and Elisa Cohen　編集：卞斗敬之　写真：Dinghan Zheng、Samil Kuo、Yenyi Lin、台北市政府観光伝播局

台北は伝統文化とモダンな暮らしが融合し、調和の取れた大都市です。ここには明るくカラフルな大型ショッピングモールに加え、地元に深く根付き、市内のみならず遠方でも評判の高い家族経営の老舗店舗が無数に並んでいます。

長年の知恵と技術を受け継いだ後継者である今の世代は、熱い情熱と熱意をもって事業に精励し、伝統ある文化を現代に体現しています。本記事では、市内で最も輝きを放ち、長年愛されてきた100年の歴史を持つ4つの店舗をご紹介します。各店舗ではお香、装飾用ランタン、スーツ、毛筆と異なる伝統的な商品を取り扱っていますが、先人の誇りや知恵を受け継ぎながら、現代の消費者の感覚やニーズに合うよう新しい要素を取り入れています。その経営理念や活用している技術、地域や街の変化に合わせてどのように商習慣を変えているのかを伺いました。

また、これらの店舗は史跡が豊富な台北の中心地から西部にあります。例えば、万華区は1700年代初期台湾で初めて漢民族が居住した地域であり、河川港として台北の物流を支えてきました。その 近くにある大稲埕は1850年代に誕生し、万華の役割を引き継いで国際貿易の拠点として発展。 博愛特区は1880年に建設された古い城塞都市であり、国の中核となる庁舎や歴史的建造物が集まる地域です。そうした地域で発展した老舗の魅力に迫ります。

01

01. 台北にある多くの老舗店舗は、伝統的な技術とその精神を 100 年に渡って継承してきました。

天
上
聖
母

老綿成灯篭店

迪化街のはずれに位置する老綿成灯篭店は1915年に創業しました。様々な色や形のランタンがレトロな赤レンガ建築の入口に吊るされ、周辺の歴史ある建物にも生き生きとした雰囲気を与えています。

子供の頃から家族の経営するお店を手伝い、現在は三代目の店長を務める張美美（ジャン・メイメイ）氏は、祖父が参拝用の冥銭の問屋から事業を始め、後にランタン販売に事業を転換したと教えてくれました。ランタンは宗教的な儀式と関連性があり、祭事の際には寺院で幸運を祈り、平和のシンボルとしてランタンに火を灯すことが一般的です。

「私が子供の頃、ここは非常に賑やかでした」と張氏は語ります。迪化街のはずれにあるこの地域はかつて橋頭市場と呼ばれ、迪化街の反対にある永楽市場（現永楽布業商場）に匹敵する規模でした。この通りにはお店が数多く並び、毎日人が溢れていました。張氏の話では画家の郭雪湖が描いた「南街殷賑」には1930年当時の大稲埕の様子が生き生きと描写されているそうです。「作品を近くでじっくり見てみると、当時のランタンの様子が伺えます。これは竹と布を使用した初期のランタンの一種です」と教えてくれました。

ランタンの作り方は直感的で、紙や布をランタンの骨格に貼り付けて中を空洞にし、点火できるスペースを作ります。「実は各部には秘密が隠されています」と四代目に当たる張新怡（ジャン・シンイー）氏は説明します。ランタンは広げると伸びてしまうため、下から見上げることができるよう高い位置に吊るすことが一般的だそうです。従って、ランタンに絵柄や文字を書くときは、広げたときに均等に見えるように比率に注意する必要があります。また、張氏は竹の選定にもこだわっています。ランタンに必要な強度と弾力性は、特定時期に生産された竹にしかないものです。高品質なランタン作りのために、老綿成では材料と技術に一切の妥協を許しません。

老綿成では伝統的な寺院の儀式用のランタンに加え、顧客のニーズやマーケティング活動に合わせ、常に最新の塗装や製法を取り入れた独自の形状の装飾用ランタンを製

02

04

03

02. 竹で編んだランタンに必要な材料と技術は、すべて長年の経験によって作られました。

03. 老綿成は 2020 年のバレンタインのイベントに合わせてカラフルなランタンを製作し、大稲埕を美しく染め上げました。(写真 / 台北市政府観光伝播局)

04-05. 老綿成では伝統的なランタン以外にも様々な材料を使ったり、新たな発想で新製品を作り続けています。

05

作。その一部は海外へ輸出しています。過去には台北市政府と協力し、旧暦のバレンタインデーにパステルカラーのランタントンネルを製作し、大稲埕をロマンチックな雰囲気にライトアップした実績もあります。今年は大稲埕の台北霞海城隍廟と共同で、台北霞海城隍文化祭で披露された金色のランタンのデザインに参画。近隣のお店は金色のランタンをぶら下げて来場者を歓迎しました。

ブランドマネジメントを担当する張氏は、ランタンの画期的な利用方法を積極的に推進しています。例えばブランドロゴをブロックチェーンに登録したり、最近では般若心経が書かれた大きなランタンを非代替性トークン NFT（Non-Fungible Token）にして、デジタル上の作品を製作するなどです。さらに、さらに、GIF 画像（Graphics Interchange Format）を利用して、ランタンが滑らかに回転する3D効果も実現しています。

張氏は「老綿成では107年間、ランタンからNFTまで一つ一つ技術と経験を積み重ねてきました」と言います。彼女たちは4代にわたって培った経験を生かして、さまざまな団体とのコラボレーションを実現し、記憶に残るような煌めく作品を生み出し続けています。

老綿成灯篭店

住所　大同区迪化街一段 298 号
営業時間　09：30 ～ 19：30

06

老明玉香舗

万華区の貴陽街に位置する老明玉香舗は、1897年の創業以来120年以上の歴史を誇るお香のお店です。レトロな赤レンガの建物の中にある同店は、金箔と銀箔が貼られた冥銭やカラフルな蓮の花の飾りなど各種参拝用品を販売しています。台湾の人々は神様や先祖へお祈りした後に、これらが向こうの世界で受け取れるようにと燃やす習慣があります。

伝統的な漢方薬のほのかな香りが漂う店内に入ると、四代目店長を務める黄瓊儀（ホァン・チョンイー）氏が赤い箱の中に入った線香の束を見せてくれました。黄氏は「このロゴは祖父の時代から使用していて、現在は曾祖父の写真を記念として印刷しています」と説明してくれました。この模様は黄氏の曾祖父が手書きで描いたものであり、100年以上が過ぎた現在でも鮮やかな色合いを保っています。

老明玉はの歴史は黄氏の曾祖父が天秤棒を担ぎながら行商をしていたことから始まります。その後、老明玉は万華内を何度も移転し、最終的に貴陽街で店を構えました。

このお店で育った黄氏はかつての貴陽街がいつもたくさんの人で賑わっていたと振り返ります。近所にある艋舺清水巌祖師廟、艋舺青山宮、艋舺龍山寺へ参拝する人たちが、お香を求めてお店に殺到していました。また、かつては有名な朝食街だったこともあり、市場での買い物や食事を目的とする人も多くいました。「ここはかつて、淡水河の河口まで続く『台北の一

番街』で、とても賑やかでした」と黄氏は語っています。

現在この通りはかつてほど栄えてはいませんが、旧正月期間になると多くの人が老明玉を訪れます。黄氏は「伝統的な参拝用品の多くはここでしか手に入らないと言われるお客様が多いです」と述べています。老明玉の商品は天然のハーブを粉にした後、天然の粘着力を持つ酵素を練りこんで仕上げた香りつきパウダーを使用。この独自の製法は黄氏の祖父の時代から受け継がれてきました。優しく穏やかな香りから温もりが感じられるこのお香はリラックス効果を高めます。

老明玉は時代の変化に直面したものの伝統技術を捨てず、代わりに安定した需要が見込める形や用途が異なる線香、渦巻き香、横置き線香の製造を開始。これによって日常生活の中で伝統的な線香の使い道を見出すことができました。1世紀以上の歴史を誇る老舗はこれからも顧客のニーズに合わせ、天然材料を使用した高品質な製品開発に力を入れていきます。「私たちは良質な材料を使用し、伝統技術にこだわることで多くのお客様から支持されています」と黄氏は誇らしげに語りました。

老明玉香舗

住所 万華区貴陽街二段 155 号
営業時間 08：30 ～ 21：30

09

07

08

06. 老明玉香舗では参拝用の商品を販売しています。(写真 /Dinghan Zheng)

07. 昨今、手作りの冥銭は台北にあるいくつかの老舗でしか見かけなくなっています。(写真 /Dinghan Zheng)

08-09. 線香は家庭内で受け継がれた製法を守り、パッケージには創業者の写真を印刷しています。(写真 /Dinghan Zheng)

林三益筆墨専家

林三益は台北で古い歴史を持つ三大地域の一つ大稲埕の端に位置する伝統的な毛筆の販売のお店です。特に商業建築の史跡が多い大稲埕は台湾北部の伝統的な特産品、漢方薬、客家花布などの卸売・小売の中心地です。

同社は伝統を重んじながらも、現代的な起業家精神にあふれた企業として知られ、新たな収益源を求める他の家族経営の老舗企業の手本となっています。2008年にはメイクブラシのブランド「LSY」を発表し、新たな世界へ進出しました。

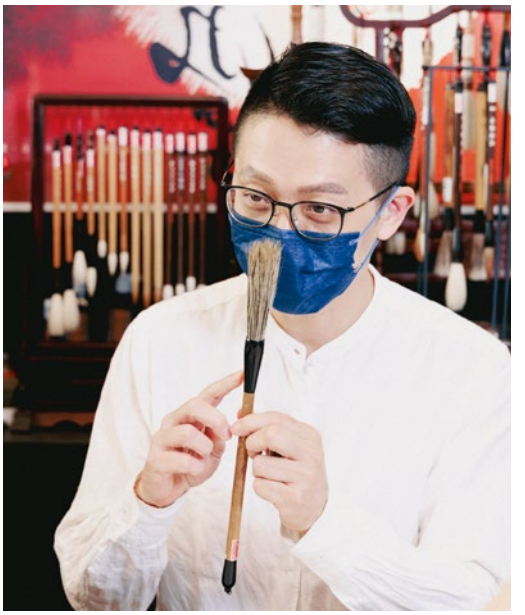
1917年、同社は中国福建省の福州で創業しました。1946年、中国の政治経済情勢が急速に悪化する中、台湾への移転を決定。その後、台湾全土の書道関連用品において「龍頭」、つまり業界のリーダーとして揺るぎない地位を確立していきました。

しかし、4代目の林昌隆氏によれば、時代の変化とともに新たな波が押し寄せ、ペンやキーボードの普及が販売に打撃を与えるようになったそうです。「その傾向は1990年代から本格化しました。現在、書道は小中学校で教わることがなくなり、生きていくためではなく、趣味の領域になっています」。

林三益の毛筆の販売を強化するために、新たな収益源を模索していた林氏は、同社の手作りブラシに関する深い専門知識をベースに、女性向けの高品質メイクブラシと男性向けの洗顔ブラシの開発をスタート。「この分野の競合する大手ブランドとは対照的に、林三益はフットワークが軽く、法人と個人の両方のお客様にカスタムデザインのブラシを提供することができます」と林氏は説明します。

こうしたLSYの高級品は現在、大手百貨店の高級売り場で販売されるなど、輝かしい成功を収めています。「林三益の

10



11

13

10-11. 毛筆作りの技術を継承する林三益では、素材選びとその応用が重要であると考えています。(写真 /Yenyi Lin)

12-13. 林三益では熟知した筆製作の技術を新たなメイク用ブラシの開発に転換しました。(写真 /Yenyi Lin)

書道用毛筆とLSYのメイクブラシは一つ一つが手作りの芸術品で魅力的なラインを描くことができます。そのため、他とは一味違うプレゼントやお土産を求める海外旅行者の間で安定した売上を誇っています」。

林氏に林三益の哲学について伺いました。「書道用の毛筆はお客様の『内なる美しさ』を追求するためのものである一方、LSYは私たちが培ってきた製造技術を活かし、お客様の『外見の美しさ』を追求することを目指しました」。

重要なことは筆の作り方だけでなく、毛の選定も要素の1つだと林氏は言います。「私たちの製品は、2つの点で優れています。それぞれの筆は書道用、メイク用と用途が決まっており、硬さ、柔らかさ、弾力性、しなやかさ、吸水性などに優れた毛が必要です。私たちは父の時代から、東アジアと他の地域で、クロテンからイノシシまであらゆる動物の毛を使用して、目的に合った完璧な毛がどれかを試し、精査してきました」。

林氏は続けます。「しかし、環境意識の高まりから現在では合成繊維の使用を増やしています。それがプラスチックによる環境問題をはらんでいることも認識しています。また、新型コロナウィルスの影響を受けて、書道用毛筆・メイクブラシのプロモーション動画を使いオンライン上での宣伝を強化しています」。

12

林三益筆墨専家

住所 大同区重慶北路二段 58 号
営業時間 09：00 ～ 18：00

湯姆西服

100年の歴史を持つ「湯姆西服」は、台北を象徴する男性用オーダーメイドスーツのブランドです。1945年に中国上海から台北に移転してきた同店は、古くから大物政治家や有名人のフォーマルスーツを手がけてきたオーダーメイドスーツのお店です。同店は「歴代総統のデザイナーズスーツショップ」として有名であることを誇りとしています。

現在許金地（シュー・ジンディ）氏が3代目の経営者として舵を取っています。1916年、上品な雰囲気漂う上海フランス租界に湯姆西服が誕生しました。許氏によると「顧客には国内で最も地位の高い人々が含まれていました。例えば、蒋介石総統と宋美齢夫人が1927年に盛大な結婚式を開いたときの衣装は私たちが仕立てたものです。これらの衣装は中正記念堂に飾られています」。同社のテーラーたちは、もともと中国の伝統的な礼服を作っていた「紅幫」という上海における中国と西洋の顧客をターゲットとした礼服の仕立てに関して大きな影響力を発揮していました。

1945年、中国の情勢が不安定になったことを受け、総統府をはじめとする重要な公共建築物が多く立ち並ぶ台北の博愛特区へ移転。「当時、ここは台北でも有数の繁華街で、夜中まで営業しているお店もあり、常に活気がありました。現在は、静かで歴史的な公共・商業建築の街となっています」と許氏は振り返ります。

常に伝統とモダンを同

14. 長年のオーダーメイドスーツ製作の経験を持つ湯姆西では、細部までお客様に合ったスーツを作っています。

15. 湯姆西では異なる生地や素材を選び、要望に合わせてカスタマイズしたスーツを提供しています。

16-17. 湯姆西では伝統技術を守るだけでなく、流行ファッションにも注目し、時代に合ったデザインを心がけています。

湯姆西服

住所　中正区博愛路 90 号
営業時間　10：00 ～ 21：00

15

時に受け入れてきたことが湯姆西服の事業の本質なのだそうです。「当社の熟練の職人技は紅幫直伝です。私たちは中国の礼装用に開発された他に類を見ない独自の技術と、百錬の職人技を駆使しています。しかし、同時に新しいものを取り入れるために、スーツ業界の最新の動向を把握する必要があります」と許氏は言います。

同社は常に世界各地から最新のスーツファッションに関する情報を集めることでスタイルや生地のトレンドを的確に把握し、お客様に最新情報を提供することをモットーとしています。また、台湾の若い世代に長く愛用されることを目指し、常に若い世代の目を引くシックなデザインと一般消費者向けのリーズナブルな価格帯を実現しています。そのため、初めてスーツを仕立てたのが湯姆西服だったという台北市民も多いです。次代を担う4代目の許氏によれば、新しいスタイルの導入が加速し、「仕立て業界のダイナミックな変化」が家業にも影響しているとのことでした。

16

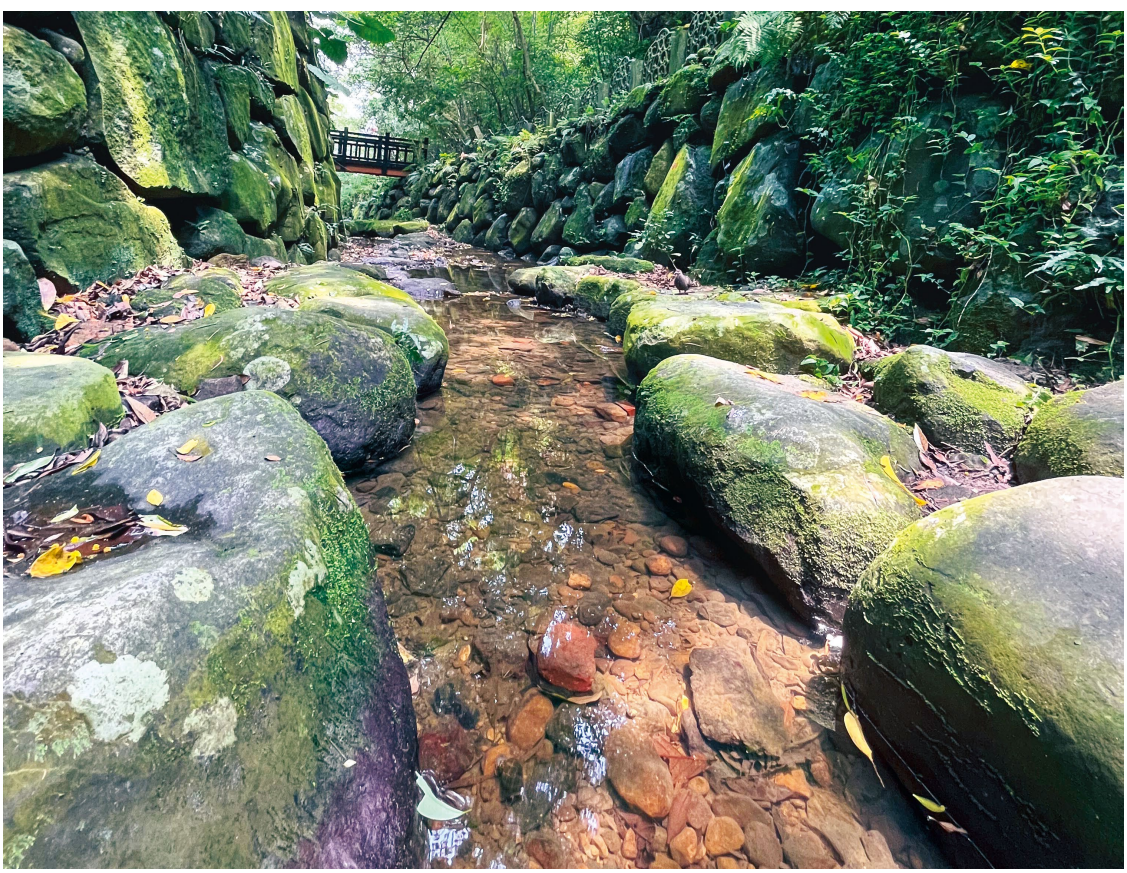
17

台北でリフレッシュ

今年の夏のおすすめスポット５選

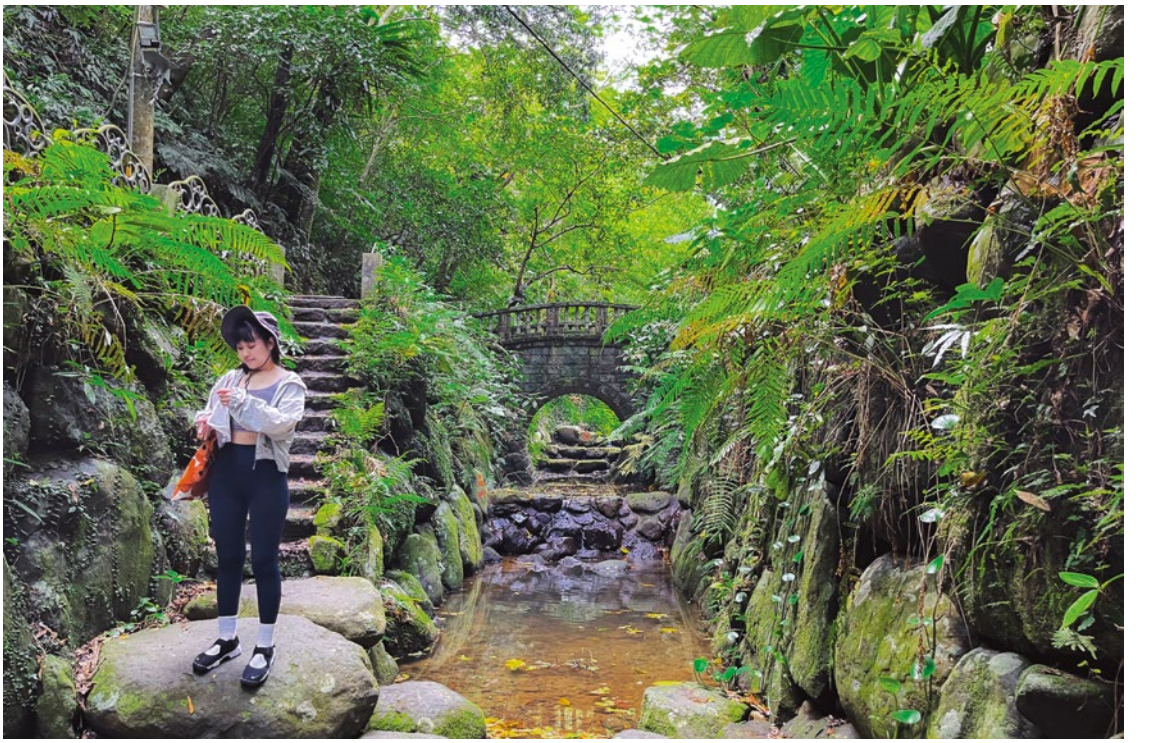
文：Nathan Ray　編集：下山敬之　写真：Taiwan Scene、Samil Kuo、台北自来水園区、台北市政府水利工程処

寒い冬は家の中に閉じこもる機会も増えますが、夏は太陽の下へ飛び出し、日光を浴びて楽しむ季節です。台北市には緑地も多いですし、世界的に評価の高いハイキングコースやリバーサイドパークなど魅力的なスポットがたくさんあります。湿度の高さから室内で涼む人もいますが、今回は夏を満喫できる最高の屋外スポットを５か所紹介していきます。古い歴史を持つ山道や夏にぴったりなウォーターパークなど、家族連れで楽しめる場所ばかりです。気になった場所があればぜひ旅行プランを検討してみてください。



01

水場で遊ぶ際には天候や河川の状況をよく確認しましょう。小さいお子さまがいる場合は目を離さないように注意してください。



02

虎山親山歩道

虎山親山歩道は台北中心部の中でも賑わっている信義区にあります。ここは台北盆地の南端を横断する広大なハイキングコースの一部です。このハイキングコースは象山、獅山、豹山、虎山と呼ばれる 4 つの山を跨いでいて、それぞれが動物の名を冠していることから「四獣山」と呼ばれています。

虎山親山歩道の入口は松山慈恵堂の後ろにあり、MRT 板南線（ブルーライン）の後山埤駅から南へ徒歩約 15 分、あるいは福徳街へ向かうバスに乗ると歩く距離を短縮できます。自信がある方は駅から徒歩による走破を目指しましょう。入り口に到着したら左右に 2 つのコースが現れます。左側は寺院の横に隣接された階段を上っていくコース、右側は虎山渓に沿ったコースです。右側のコースには小川が流れていて、トンボや鳥といった小さな生き物たちがハイキングの「お供」をしてくれます。また、少し歩いたところにある最初の石橋には階段があり、それを下りると小川へ直接足を浸すことができます。橋を渡って 1 分ほど歩いた場所には大きめの広場があり、そこを流れる小川は水深も浅いのでお子さま連れの方も安心して遊べます。

このコースは九五峰や象山などに比べるとこう配も緩やかなので、ハイキングの難易度は低めです。熱帯雨林の下を通る石造りの小道は夏の暑さを和らげ、さらに小川が癒しと休息を与えてくれます。

01. 渓流に沿ってハイキングをすると、夏の台北でも十分に涼むことができます。

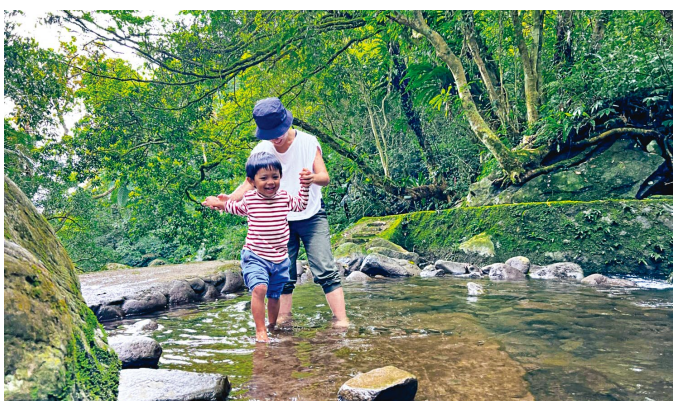
02. 整備された虎山親山歩道は小川に足を入れ、穏やかな時間を過ごすことができます。

坪頂古圳歩道

次に紹介する坪頂古圳歩道は陽明山のふもとにあります。市街地から最も近い入り口は、故宮博物院から約 7km のところにあり、MRT 剣潭駅からバスで行くことができます。

このコースの特徴は、坪頂古圳、坪頂新圳、登峰圳といった一連の運河です。これらの運河は清朝時代に農耕や生活用水のために地元住民が山腹を切り開いて建設しました。坪頂古圳は 1834 年に建設されたもので、3 つの運河の中でも最も古いものです。いずれの運河も小さな滝や大地から染み出る伏流水が源流となっていて、きれいな山の水を取り込み、それを周辺地域に供給しています。また、貴重な水の供給だけでなく、運河の周辺には多くの動物が生息しており、小さな魚やカエル、トカゲなどの生物が鑑賞できます。

メインのハイキングコースは全長 2.3km で、緑豊かな渓谷を緩やかに進み、3 つの運河と内双渓を横切ります。厚い樹冠が日差しを遮り、爽やかな渓流が癒しを与えてくれるスポットです。小川沿いにある平らな岩で瞑想をすれば、森の持つ癒しのパワーが得られそうな感じさえしてきます。人類の歴史と大自然の美しさを存分に楽しみましょう。

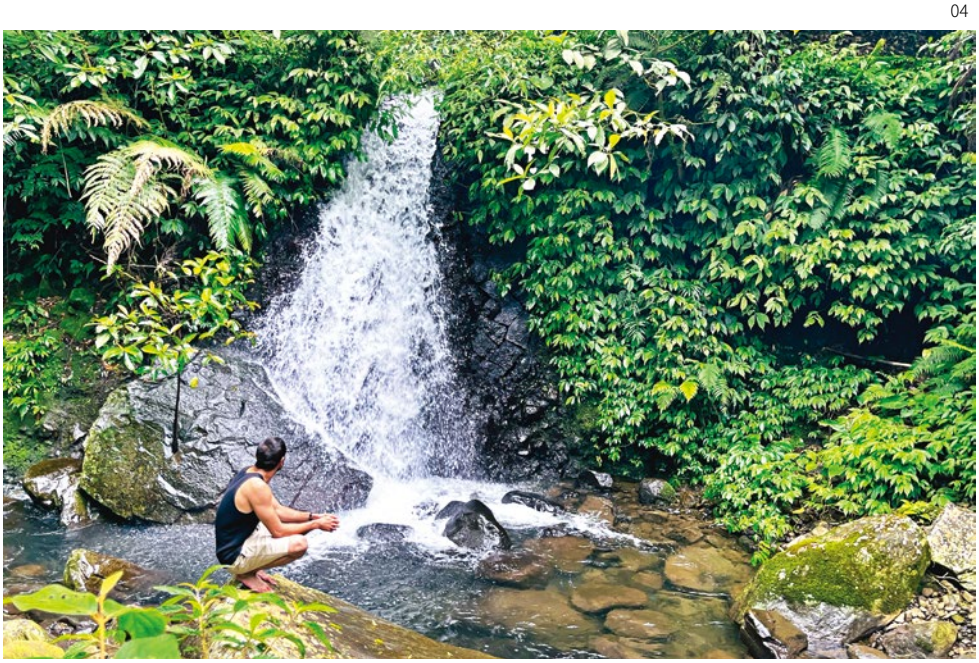


03

03. 坪頂新圳の頂上には小川が流れていて、水深は浅く、水流も穏やかなので子どもたちが遊ぶのに適しています。

04. 内双渓を囲む坪頂古圳歩道には小さな滝があり、ハイカーたちの憩いの場となっています。

04



大溝渓生態治水園区

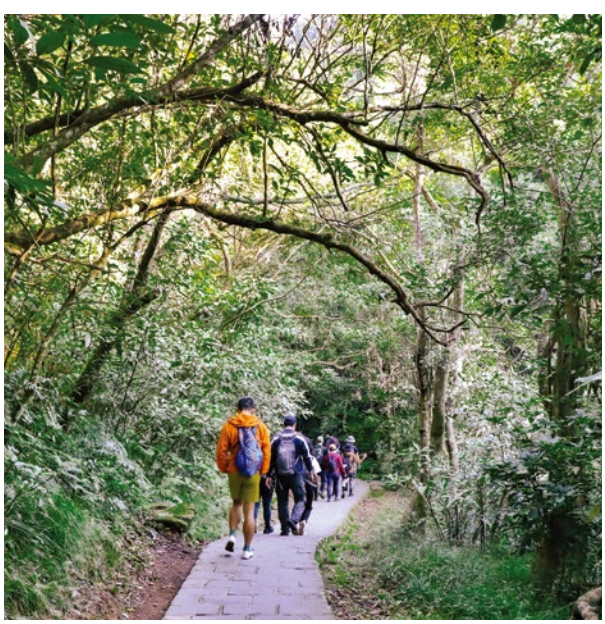
大溝渓生態治水園区は台北北東部にある内湖区に位置し、MRT 大湖公園駅から大湖山荘街を 850m ほど歩くと到着します。

公園内には緩やかな丘陵に隣接した芝生の広場が広がっているので、子供や犬が遊ぶ場として最適です。趣のある石造りの道が谷を流れる小川に沿って続くこのハイキングコースは、途中に多くの休憩スポットも用意されています。

一番の見どころは、入り口から歩いて 20 分ほどのところにある「円覚瀑布」という滝です。ここは多くの人が鑑賞を楽しめるようにと座席が数多く用意されていますし、足を直接水につけることもできます。

また、ここは台北市内を縦断するように張り巡らされた全長 92km のハイキングコース「台北大縦走」の一部でもあるのです。さらに奥へと進むと碧山巌に到着し、金面山、あるいは陽明山まで行くことができます。午後のひとときをのんびりと過ごしたいときは、大溝渓生態治水園区へ足を運ぶのもよいでしょう。台北で最も気軽に滝が鑑賞できるコースなので、夏の日帰り旅行にはもってこいのスポットです。

05



06

05. 円覚瀑布は台北市内でもアクセスがしやすいハイキングコースの 1 つです。

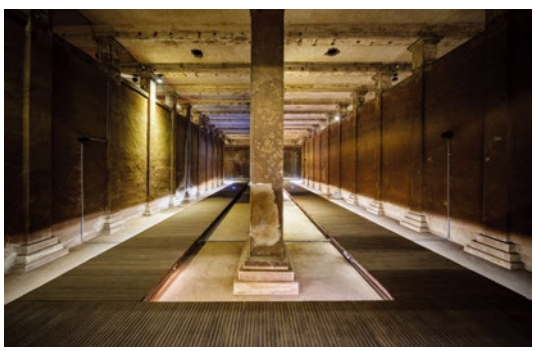
06. 緑に覆われた大溝渓歩道には、のんびりハイキングをしたい人たちが集まります。

台北自来水園区

より刺激的なアクティビティを体験したい方は、台北市南部の中正区にある台北自来水園区がおすすめです。MRT 松山新店線（グリーンライン）の公館駅より徒歩園内でアクセスできます。

公園内には小観音山生態登山歩道という夏にピッタリのアウトドアスポットがあります。ここは観音山貯水池まで続くハイキングコースがあり、この貯水池は 100 年の歴史を持っています。現在でも台北に水道水を供給する重要な水源であり、世界の地下宮殿と比較しても遜色ありません。貯水池の遊歩道へ入るには予約が必要ですが、一度足を踏み入れると暑さをしのげるだけでなく、タイムスリップした気分が体験できるでしょう。どうしても日差しに耐えられないという方は、台北の給水システムが見学できる台北自来水博物館の中を見学するのも 1 つの選択肢です。

館内では 8 月 19 日から 28 日にかけて、台北市政府主催の「台北河岸童楽会」が開催されます。期間中はウォータースライダーやプールが開放されるので、子どもたちと一緒に太陽の下で水浴びが楽しめます。入場料は大人が NT$80、12 歳以下の子供と学生は NT$40 です。



07

08

07. 100 年以上の歴史がある観音山貯水池は、台北市の古蹟に指定されています。(写真 / 台北自来水園区)

08. バロック式の建築様式で建てられた自來水博物館は、人気のインスタ映えスポットでもあります。(写真 / 台北自来水園区)

09

大佳河浜公園

大佳河浜公園は台北松山空港に近い中山区の北端、基隆河畔にあります。公園へのアクセスはバスか自転車がおすすめです。

基隆河と淡水河に挟まれた台北には、最短で約8km、最長で47kmのサイクリングロードがあるほか、水門付近には遊び場や運動施設、公園が点在しています。大直橋から西に伸びる広大な大佳河浜公園は、台北を囲むすべてのリバーサイドパークとつながっているダイナミックなスポットです。縦横無尽に広がるサイクリングロードのおかげで、台北を別の角度から眺めることができます。

10

大佳河浜公園の目玉は「希望の泉」と呼ばれる噴水です。細長い形をした公園の西側にあり、午前10時から午後5時まで1時間に1回、高さ70mを超える水を噴き上げます。さらに7月から8月にかけては、華麗なイルミネーション演出による1回15分のエクストラショーを夜7時と8時にそれぞれ開催。インスタ映えスポットとして有名な圓山大飯店をバックに素晴らしいショーが満喫できます。また、噴水だけでなく、滑り台やブランコなどの遊具もありますし、日陰に設置された砂場にはバケツやスコップもあるので、お子さま連れの方にピッタリのスポットです。

09. 大佳河浜公園の埠頭はカヤックなどのアクティビティを楽しむのに最適です。(写真 /Samil Kuo)

10. 納涼だけでなく美しい夕日も鑑賞できるので、夏の夜はぜひ希望の泉の噴水ショーを見に行きましょう。(写真 / 台北市政府水利工程処)

クールなリノベーション

台北で探す古い建築物

文：Jenna Lynn Cody　編集：下山敬之
写真：台北記憶倉庫、国家撮影文化中心、台湾新文化運動記念館

台北の夏は照りつける日差しが厳しく、外を出歩くには不向きな環境です。このような季節は一休みできる涼しい空間が適しています。

台北ではここ数年、日本統治時代の古い建物が盛んにリノベーションされています。台北は歴史や文化を学べるだけでなく台湾の変遷を象徴する場所へと変化しているのです。特に注目してほしいのは、今回紹介する「台北記憶倉庫」、「国家撮影文化中心 台北館」、台北北警察署が再建した「台湾新文化運動記念館」の 3 か所。台北の中心部に位置するこれらのスポットは 1913 年から 1937 年の間に建てられたもので、いずれも歴史的建造物の鑑賞や無料の展示エリアを見学できるほか、併設されているカフェで一息つくこともできます。

01

01. コンクリートジャングルに囲まれた台北には歴史ある建築物がいくつもあり、暑さを避けながら内部を見学できます。(写真 / 台北記憶倉庫)

02. 赤レンガ造りの台北記憶倉庫は台北の古き良き時代を思い出させてくれます。(写真 / 台北記憶倉庫)

03. 展示ブースと書店には建物の歴史に関する資料が取り揃えられています。(写真 / 台北記憶倉庫)

台北記憶倉庫

住所 中正区忠孝西路一段 265 号
(最寄り駅　MRT 北門駅)
開館時間 11：00 ～ 19：00 (月曜定休)

02

台北記憶倉庫

1913年に旧三井物産株式会社によって建設された倉庫で、旧三井物産株式会社北門倉庫とも呼ばれます。台北市内にある北門から道路挟んで斜め向かいに位置しています。レンガ造りと会社の ロゴを模したひし形の屋根、アーチ状の屋根飾りが特徴的な建物です。

半世紀以上放置されていましたが、2016年に台北西区門戸プロジェクトの一環として改築が計画されました。その際、元の建築物をそのまま使用するのは危険と判断され、元の場所から50m離れた場所にレプリカが建設されました。建物の中には解体された当時の屋根瓦が保管されています。

館内には三井物産の事業と関係のあるお茶、米、樟脳、塩、砂糖、たばこ、石炭などの原料の貿易と林業に関する展示があります。線路と大稲埕埠頭の両方に隣接し、さらに清王朝時代や日本統治時代の史跡からも近いこの建物は、台北の商業の発展と貿易ルートを学ぶことできる場所です。

また、施設内には書店とカフェがあり、種類豊富なドリンクやWi-Fi設備が完備されているので、のんびり過ごす際にも最適です。

03

04

05

06

04. 東洋と西洋のスタイルを融合した独特な外観が国家撮影文化中心の特徴です。(写真 / 国家撮影文化中心)

05-06. 展示されている写真だけでなく、洗練された建物の鑑賞にも時間を割いてみましょう。(写真 / 国家撮影文化中心)

国家撮影文化中心 台北館

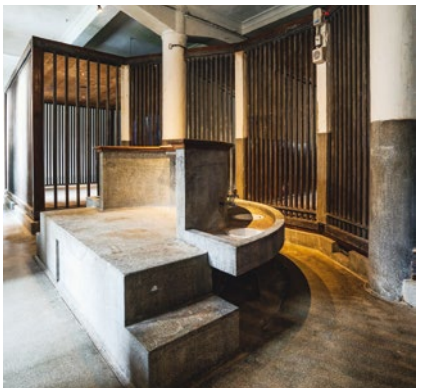
台湾唯一の国立撮影技術の専門機関である国家撮影文化中心は、台北記憶倉庫から少し歩いた場所にあり、文化的・歴史的に重要な写真や写真をベースとした芸術作品を展示しています。2021年にオープンしたこの建物には展示コーナーだけでなく、おしゃれなカフェやショップも併設されています。2、3階の展示コーナーは国立台湾美術館が運営をしていて、今年の夏は「鏡像・映像：80後的當代影像芸術」という展示が開かれます。80年代後半の台湾の現代映像芸術を紹介する内容なので、どうぞお見逃しなく。

L字型をした独特な構造は日本人建築家の渡辺節が設計したもので、彼の台湾における唯一の作品です。当初は1937年に大阪商船株式会社のために建設され、屋根の上に置かれた日本式の塔楼とモダンな外観が特徴でした。後に戦争で資源の節約が行われたため、これが日本統治時代に建てられた最後の鉄筋コンクリート造の建築物となりました。1968年には4階建てにするために建物の一部が解体されたため、特徴である塔楼が存在しなかった時代もあります。その時にはすでに現在の交通部公路総局の前身である台湾省公路局が同所に事務所を構えていました。

2014年には台北市文化局に都市遺産に指定され、リノベーションを開始。そこで渡辺節の設計が復活し、設計当初の外観へと戻ったのです。

国家撮影文化中心 台北館

住所 中正区忠孝西路一段 70 号 (最寄り駅 MRT 台北駅)
開館時間 10：00 ～ 18：00 (月曜定休)



08

台湾新文化運動記念館

住所 大同区寧夏路 87 号 (最寄り駅 MRT 大橋頭、双連、民權西路駅)

開館時間 09：30 ～ 17：30 (月曜定休)

07

台湾新文化運動記念館

09

台北駅の北に位置する大稲埕は台北で最も歴史のある地域です。この一帯にある歴史を感じる建物は何十年にもわたって旅行者を魅了してきました。中でも台湾新文化運動記念館の前身であった台北北警察署は一番の大きさを誇っていました。現在の記念館は戦前の外観を復元したもので、冷房の効いた館内は夏場の市内観光に最適のスポットです。

この建物が建設されたのは1933年で、もともとは拘置所でした。それから数十年の間に赤レンガ造りとなり、3階部分が増築されました。2014年にはリノベーションが開始され、現在のような展示を開始。その際に選ばれたのは、台湾文化協会の創設者であり、1920年代にはこの拘置所に収監されていた蒋渭水に関する品々です。蒋渭水は台湾の新文化運動を推進した人物で、公演、講演、エッセイ、《台湾民報》誌などを通じて、台湾の文化や歴史を理解する活動多数行いました。

館内に入ると当時の様子が伺える青いタイルを敷き詰めた階段、入り口付近にあるオリジナルの床が広がります。新文化運動に関する展示を通じて、台湾の人たちの民主主義と自治を求めた歴史が学べます。また、元々は警察署であったため、扇状の拘置室や監獄の様子も見学できます。館内には小さなカフェや売店もあるので、見学に疲れた際はそちらを利用しましょう。

台北の商業の歴史を学ぶなら台北記憶倉庫、写真をベースにしたアートを楽しみたい方は国家撮影文化中心、1920年から1930年にかけての台湾の文化運動について学びたい方は台湾新文化運動記念館がおすすめです。この夏は美しくリノベーションされた「クール」な歴史的建造物を満喫しましょう。

07. かつては権威の象徴であった警察署は、台湾の民主化の戦いを記念する博物館へと生まれ変わりました。(写真 / 台湾新文化運動記念館)

08. 扇形をした拘置所は、現在では博物館の展示の一部となっています。(写真 / 台湾新文化運動記念館)

09. 新文化運動記念館には植民地下における台湾の人々が自治を追求した様々な記録が残っています。(写真 / 台湾新文化運動記念館)

01

アフターアワーのお買い物ガイド
午後から巡る台北の夕市

文：Catherine Shih　**編集：**下山敬之　**写真：**Yengping、Taiwan Scene

夏がやって来て気温が 30℃を超えると、台北の人々は多くの時間を屋内で過ごし、涼しい時間帯になってから出かけるようになります。地域の夕市は、昼過ぎから日暮れまで営業しているため、仕事終わりのサラリーマンたちにって最高の憩いの場です。日用品の購入からおいしいグルメまで、地元民の活気に触れることができる夕市は、地元の屋台料理を味わうのに格好の場所です。

02

万華区
双和市場

双和市場は、万華駅またはMRT龍山寺駅から徒歩約15分の万華区にあり、野菜、果物、家庭料理が安価に購入できることで有名です。午後3〜4時、あるいは7〜8時まで、何百もの屋台が並び、地元の食品を販売しています。例えば、台湾で愛され続ける饅頭専門店「饅頭王」では、肉まんをはじめ、キャベツ、タロイモ、黒糖、ゴマなど10種類以上の餡が選べます。しかもお値段は1個たったの10新台湾ドル。また、パイナップルやドラゴンフルーツなど、6〜7月頃に収穫される新鮮な季節のフルーツを販売する屋台もあります。

自家製カレーの香辛料や食材をお探しなら、双和市場でタマネギ、ジャガイモ、ターメリック、ショウガ、エシャロットなどをお手頃価格で揃えることができます。他にも香ばしいフライドチキンで有名な「津味炸鶏」は見逃せない屋台の1つです。冷凍肉は決して使わない特製フライドチキンは、ジューシーでサクサクの食感が魅力。ここの夕市でお買い物をすれば、まず失敗はありません。

03

04

01. 伝統的な朝市に行きそびれても午後から開く夕市へ行けば、日用品を買い揃えることができます。

02-03. 饅頭王は饅頭だけでなく、水煎包という蒸し焼きにした中華まんも販売しています。

04. 津味炸鶏の揚げ物は作り置きをしていないので、揚げたての味が楽しめます。

内湖区
文徳夕市＆金龍夕市

内湖区は台北のシリコンバレーと呼ばれ、内湖科技園区には次々と新しいビルが建設されています。このハイテクエリアに昔ながらの市場が隠れているとは想像できないでしょう。実際、文徳夕市では近年ますます希少な光景が見られます。科技園区の端で開かれる文徳夕市には、温かいお惣菜や新鮮な野菜など、多種多様な食品が並び、園内で働くホワイトカラーの人々が仕事終わりに買い物をしたり、グルメを楽しむ場となっています。

豆花の屋台「芋芳川」は、開店からわずか2時間で売り切れることもしばしば。有機大豆を使った豆腐プリンは、やわらかくなめらかな食感です。程よい甘さの黒蜜もまたおいしさの秘密で、トッピングのピーナッツ、小豆、タロイモ団子、タピオカなどと一緒にいただきます。

もうひとつのお勧め屋台は、できたてのローストダックとチキンを販売する「阿龍師脆皮烤鴨放山鶏」です。このジューシーな肉とパリパリの皮を目当てに、たくさんの人がここを訪れます。鴨の半身がサイズによっては160～180新台湾ドル、大家族で食べられるジューシーな丸ごとローストダックは300新台湾ドルです。火・木・土日のみの出店ですので、お見逃しなく。

この付近では、サツマイモフライ、鶏排（チキンステーキ）、イカ玉など、あらゆる種類の揚げ物を販売する「文徳炸鶏」も有名です。一方、終日営業する地域のベーカリーとペストリーショップ「可來富」では、平日のブランチタイムから深夜の軽食タイムまで、シンプルでおいしいサンドイッチやパンを販売しています。

内湖区の中心から少し北に行くと、内湖の住民たちに大人気の夕市があります。朝の金龍路は静かな住宅街ですが、夕暮れ時になると賑やかな市場に一変します。金龍夕市は、地元の家庭にとって楽しさあふれる場所なのです。

文徳夕市からわずか2kmの距離にある金龍夕市は、毎日職場と家を行き来する地元のサラリー

05

06

05. 有機大豆にこだわっている芋芳川の豆花は、濃厚な風味が口の中に広がります。(写真 /Taiwan Scene)

06. 文徳夕市内では日常的な買い物にも温かい交流があり、人情味に溢れています。(写真 /Taiwan Scene)

07

マンやOLをターゲットにしています。多くの屋台では、4〜5人家族向けに計量された野菜や果物の袋詰めを用意しており、共働きの人も仕事帰りの買い物時間を節約できます。夜が更けると最終値引きが始まり、若い単身労働者が大挙して押し寄せます。

出来たての屋台グルメも忙しい家庭の時短にぴったり。大小のソーセージ、サツマイモ団子、チキンレッグ、塩漬けクリスピーチキンなどを販売する「林媽媽市場炸物」など有名な屋台もこの市場にはあります。メニューはランダムに変わるため、日によってはフライドポテトやサツマイモフライ、紅酢豚、エビフライなどが並んでいるかもしれません。また、有名なブラックハーブティーや中国茶も、暑い夏の日に涼を取るのにぴったりです。

08

07. 金龍夕市は短い路地の中にありますが、内湖の人たちが食料品を購入しに訪れる重要な場所です。

08. サツマイモ団子からソーセージまで、林媽媽市場炸物の食べ物は多くの人が子供の頃から食べてきた懐かしい味です。

09

09. 虎林街夕市にあるお店では買い物がしやすくなるよう野菜や果物を整理して陳列しています。

信義区
永春市場＆虎林街夕市

MRT永春駅から徒歩わずか5分、松山路のそばにあるのが、信義区における主要な市場の一つである永春市場です。朝7時から夜9時まで長い時間に渡ってオープンしており、様々な年代や職業の台北市民がいつでも必要なものを購入できるようになっています。さらに、永春市場は信義区で最大の面積と店舗数を誇ります。

数十年続くこの市場には、有名な屋台が目白押し。台北伝統市場節の受賞店である「春和油飯」は、糯米の他、紅亀粿、大根餅、甘酒餅などでも知られています。「白金山手工貢丸」は、鍋料理にぴったりの手作り豚玉で顧客の心を掴んでいます。また「上味香魚丸」は、魚やイカなど取れ立ての海鮮を使ったジューシーな肉団子が人気です。そして、もう一つの隠れ名店が「山東老店」。サワードウで発酵させた手作り肉まんは、舌が肥えた方も絶賛するおいしさです。

永春市場の2階では毎週末に中古品市場が開かれています。興味深いことに、これは台北の伝統的な市場の中では唯一の中古品市場です。毎週土日の午前9時から開催され、たくさんの人が掘り出し物を求めて訪れます。ここでは、硬貨などの骨董品はもちろん、地元デパートの純正・訳あり品を低価格で購入することができます。値引き交渉ができることも多いので、お得なお買い物にきっと満足できるはず！

それでもまだ物足りない方は、永春市場のすぐ近くにある虎林街夕市へどうぞ。MRT永春駅5番出口に近い虎林街に位置するこの市場は、お隣の永春市場と異なり、屋外にあります。この市場の中には「東加炸鶏」と

いう屋台があります。このお店は午後3時から午後7時半までの4時間半という短時間営業ながら、閉店前に売り切れてしまうこともあるそうです。ニンニク入りのアップルソースに鶏肉を漬け込んだ特製レシピがこの屋台の人気の秘密です。

「台湾鶏大王」という屋台では、サトウキビがほのかに香るスモークチキン「甘蔗鶏」を販売しています。台湾のもう一つの有名グルメ、「塩水鶏」がお好きな方も、こちらで購入できます。ここでは、ニワトリの肉を雄雌で分けています。雌の方が雄よりも脂肪分を多く含んでいるので、赤身以外が好きな方にも最適です。同じ通りには他にも人気の屋台が並んでおり、その中でも「專一豆花」は40年の歴史を誇る小さな屋台で、タピオカやピーナッツをトッピングした豆花を販売しています。また、「大肥媽潤餅」は人参、大根といった野菜や、豚肉の薄切りなどの具材を包んだ、風味豊かな台湾式クレープが有名です。木曜日と日曜日の週2日しか営業していないので、購入できるかは運次第です。

10

11

12

10. 週末に永春市場を訪れる際には、中古品市場へ足を運んで掘り出し物を探しましょう。

11. 大肥媽の台湾式クレープには野菜が大量に入っていて、口当たりが優しく栄養も満点です。

12. 栗やしいたけ、ホタテといった伝統的な食材を油飯に混ぜ合わせることが春和油飯の味の秘訣です。

写真 / Samil Kuo

台北の市場では夏になると旬の野菜や果物が並びます。
@浜江果菜市場

台北の城隍と夏のイベント

文：Jenna Lynn Cody　編集：下山敬之　写真：Samil Kuo、台北霞海城隍廟

台北の大稲埕にある迪化街は、日本統治時代の商店が立ち並ぶ賑やかな通りです。その中には台北霞海城隍廟という建物があります。規模は小さめですが、色とりどりの装飾や様々な活動が行われていることから、近隣の建造物よりも歴史があるように感じられるかもしれません。1859 年に建てられたこの廟は、160 年以上の間、この地域の宗教的中心地として存在してきました。また、迪化街南側の活動の中心地でもあります。

ここは台北でも有数の歴史的スポットであり、特に毎年の夏には城隍の生誕を祝うために多くの人が訪れます。毎年 6 月に開催される「台北霞海城隍文化祭」では、暖かくなってきた大稲埕を散策し、歴史と活気に満ちたこの街を楽しむことができます。

01

03

02

01. 台北迎城隍は台北で行われる重要な宗教行事の一つです。

02-03. 台北霞海城隍廟は 1859 年の建立以来、大稲埕における信仰の中心となっています。(写真 /Samil Kuo)

霞海城隍廟の歴史

台湾の多くの都市には城隍廟があります。城隍はその都市に関係する神様で、現世とあの世の両方で民衆を見守る存在です。城隍という言葉は、「都市（城）」と「濠（隍）」に由来し、都市の境界を守護する存在です。人々は天災から守ってもらえるように神様に祈ると、城隍悪霊を退散させ、疫病を沈めると考えられています。

霞海城隍廟の広報・文化を担当する吳孟寰（ウー・モンファン）氏は、「城隍は都市を守る市長のような存在です」と話します。そして、「霞海城隍廟は台北で最も古い城隍廟です」と付け加えました。

霞海城隍廟の歴史は独特で、1821年に中国の廈門近郊の霞城という町からの移民によって台湾に持ち込まれました。当時は万華地区にありましたが、万華の剥皮寮（ボーピーリャオ）で移民集団同士の抗争が勃発したため、1853年に大稲埕へ移設。このとき、38人の男性が霞海城隍廟を守るために犠牲となっています。彼らは現在もこの廟に祀られており、霞海城隍と共に邪気を払っているとされています。こうした背景から、1859年に現在の廟が建てられるまで仮住まいをしていました。

霞海城隍廟に祀られているのは38人の勇士のほか、城隍の妻（幸せな結婚と気配りのできる夫に恵まれる）、月下老人（仲人神とも呼ばれ、運命の相手を見つける手助けをする）など数多くの神様です。中には日本統治時代に備えられた仏像もあり、宗教の融合を感じさせる廟となっています。また、廖添丁という人物もここに祀られています。

04

04. 顔にペイントを施した八家将は悪霊を払う力があると信じられており、夜の巡行パレードにおいて重要な役割を担っています。

05. 主神である城隍以外にも霞海城隍には月下老人などの有名な神様が祀られています。(写真 /Samil Kuo)

06. 城隍の生誕を祝う巡行イベントでは活気のあるアートパフォーマンスが見られます。

彼は19世紀台湾のロビン・フッドと呼ばれており、裕福な家から盗んだ金を霞海城隍廟に隠し、貧しい人々に配っていた人物です。

霞海城隍廟が大稲埕に移った当時、この地域はまだ民家がまばらでした。理由はここがかつては米を乾燥させる場所として利用されていたためです。

しかし、1920年代から1930年代にかけて、台湾のお茶を輸出するための会社が設立され、この地域は繁栄を始めました。呉氏によれば、「この廟は改築されたことはあっても、拡張されたことはありません」。この廟は清朝時代の面影を今もなお色濃く残しています。

05

06

城隍と大稲埕を巡る

霞海城隍の誕生日は旧暦の5月14日で、通常は新暦の6月にあたり、2022年は6月12日がその日に当たります。誕生日にはいくつかの行事や儀式が行われますが、中でも注目すべきは誕生日の前日に行われる巡行パレードです。「城隍は誕生日に旅行をしてはならないので、前日に巡行をします」と呉氏は説明します。

この巡行は、七爺八爺の名でも知られる謝将軍と范将軍らが率いる「軍隊」とともに城隍が各地を巡ります。謝范将軍は「八家将」の2人で神様の偉大さを表しています。巡行に参加する面々はその年によって異なり、獅子舞、龍舞、その他の八家将など様々です。

「城隍がいつも廟にいると、遠い存在だと思われてしまうので、この巡行パレードを行うのです。日常生活に密着し、人々のもとを回ったほうが親しみを持てます。昔は一般の人が参拝できるのは誕生日当日だけでした」と呉氏は言います。

このパレードは夏の暑い時期に行われるため、城隍を迎えるために外に出た若い女性が暑さで体調を崩し、失神してしまったという伝説があります。城隍は倒れた若い女性を自分の元に置いたといいます。これを止めるために、城隍には妻が授けられました。そして、既婚女性が城隍の妻に家庭円満を祈るという風習が生まれたのです。

あまり知られていませんが、実は城隍の巡行は1つだけではありません。地元の人や観光客が集まる昼のパレードに加えて、旧暦の5月11日に夜に開催されるパレードもあります。厳粛に執り行われるこのパレードでは、城隍はお供を率いて都市の四方の境界となっている土地神と帰綏街にある普願宮を訪問します。最北端は哈密街の近くにある和安宮です。この廟の信徒とは、1853年の万華における抗争で同盟を結んでいた歴史があるため、巡行の際には必ず訪れます。

夜のパレードの目的は、悪霊を追い払い、街から疫病をなくすこと。「パレードが夜に行われるのは、悪霊が出てくる時間帯だからで、城隍はそれを退治します。そのために軍隊や将軍といったお供が必要なのです。夜のパレードは狭い路地にも行きますが、そういうところに悪霊がいるのがその理由です」と呉氏は説明してくれました。

07

09

08

霞海城隍文化祭

霞海城隍廟は伝統を大切にしつつも、それに固執することはありません。近年は大稲埕の地域社会と協力し、城隍の誕生日の数週間前に「霞海城隍文化祭」を開催しています。この祭りの目的が、大稲埕の伝統と歴史に焦点を当て、この地域の継続的な活性化を支援することであるためです。

文化祭の期間中、イベントに参加しているお店は黄色いランタンを掲げ、城隍の誕生日を祝います。来場者はそうしたお店に立ち寄ることで、台湾の歴史と伝統を知ることができるのです。例えば、レストランや喫茶店では特別メニューを提供し、漢方薬局や伝統工芸品・伝統産業に関連するお店は小規模の展示会やショップツアー、DIY体験を開催します。また、宗教色のないパレードやステージショー、台湾オペラ、子供達による出し物、客家、先住民、閩南人、移民によるパフォーマンス、アートインスタレーションなども行われます。

「特に大稲埕には長い歴史があるので、伝統文化を知ってもらいたいのです。また、文化祭に訪れた方の多くは地元のお店で買い物をしてくれるので、地元産業への貢献にもなります」と呉氏は話します。

台北霞海城隍廟

住所　大同区迪化街一段 61 号
営業時間　06：16～19：47

▶台北霞海城隍廟公式サイト

▶霞海城隍文化祭情報

その他の関連行事

霞海城隍廟は城隍の生誕祭と文化祭を主催するだけでなく、ドラゴンボートチームのスポンサーにもなっています。今年のドラゴンボートレースの開催1週間前、廟から大稲埕埠頭までの小さなパレードが行われ、参加チームを祝福しました。また、この活動により、城隍は水辺の守護を強くすることができると考えられています。

一方、台北で最も有名な縁結びの神様を祀っていることから、七夕に行われる台北市主催のイベント、台北バレンタインデー（大稲埕情人節）にも関わっています。このイベントは霞海城隍廟の近くにある大稲埕埠頭で行われ、最後には淡水河の上で華やかな花火が打ち上げられます。

外国人観光客も霞海城隍廟の文化行事に参加する機会はたくさんあります。伝統的な巡行パレードに参加したり、オンライン活動に参加したりなどです。「城隍生誕パレードの魅力は直接参加して頂くとよく分かります。展示や伝統儀式を見たり、漢方薬や喫茶店を訪れたりと楽しみ方はそれぞれです。ぜひ古くから伝わる台北ならではのライフスタイルと雰囲気を感じてみてください」と呉氏は話します。

07-08. 霞海城隍文化祭は伝統的な宗教パフォーマンスに新たなスタイルの舞台芸術を組み合わせることで、多様性のある祭典となっています。

09. 霞海城隍はドラゴンボートレースの前に淡水河を巡行し、レースの安全を祈願します。

10. 霞海城隍文化祭の目的は伝統的な宗教信仰と現代的な文化イベントを通じて、より多くの人を大稲埕に招くことです。

10

台北から世界へ
若きアーティスト LeHo

文：Seb Morgan　編集：下山敬之　写真：Samil Kuo、@kevintsg、 @tw_ghostcat

台北には多くのリバーサイドパークがありますが、ここ数年間で公園内の堤防が大きな注目を集めています。特に彩虹、大佳、中正などの公園にあるコンクリートの壁は巨大なキャンバスへと変化しました。これは市内で拡大したストリートアーティストのコミュニティが台北にもたらした鮮やかな変化の一つです。

何彦霖（ホー・イェンリン）氏は、その変化をもたらしたアーティストの一人です（アーティスト名は「LeHo」。以降はアーティスト名にて表記）。彼が描くテーマは一風変わっていること、そしてパステルカラーを使用するスタイルから一般的な「ストリートアーティスト」というイメージからはかけ離れています。しかし、台北や高雄に滞在したことがある人なら、彼が壁に描いたアート作品を一度は目にしたことがあるでしょう。

台南出身の彼はその熟練した技で都会の壁や土手、アパートに魔法をかけていきます。 他にも９名の人気アーティストと共に市内の河畔を「都会の絵本」に変えるプロジェクト「台北新画堤」にも参加しています。今回はそんな LeHo 氏にグラフィティ、ストリートアートについて、そして彼がアート界にもたらした変革に関するてお話を伺いました。

01

02

生粋の台湾人アーティスト

LeHo氏はのんびりとした親しみやすい人物です。アーティスト名も、台湾語の「こんにちは」を意味する「リーホー」と同じ読み方をしていて、非常に雰囲気に合っています。「南部で最初のストリートアートプロジェクトに携わった時、毎朝近所から『リーホー』という言葉が聞こえていました。この音は私の英語名であるLeo Ho（レオ・ホー）と響きが似ています。だからこの名前が真っ先に思いつきました」と解説してくれました。

作風を見ても分かるようにソフトで優しい色彩を好む彼は、もともと水彩画家でした。「ある日、自分の絵を直接壁に描いたらどうなるのだろうと考えるようになりました」とLeHo氏は振り返ります。「私の作品がソーシャルメディアで取り上げられ、2016高雄前金国際街頭芸術祭に招待されました。そこからが私の冒険の始まりでした」。

LeHo氏が最初に手掛けた大型公共プロジェクトは、2017年に高雄衛武迷迷村でお披露目された「水母與猴（クラゲと猿）」です。この作品は水中を漂う美しいクラゲとテナガザルが描かれています。その1年後に描かれた「天空之門（天空の門）」は、2棟ある4階建てのアパートの壁を使い、ペガサスと空飛ぶタツノオトシゴという2種類の架空の生物を描いてアート界から注目を集めました。

01. 年配の方々から過去に洪水が起きた際に打ち上がった魚を手で拾って歩いたという話を聞いたLeHo氏は台北市と協力して「台北新画堤」プロジェクトを企画。そして「水辺」という作品を描いて過去のストーリーを形として残しました。

02. LeHo氏にとって各地のストーリーにあった作品を創作することはとても意義のあることです。（写真/@tw_ghostcat）

動物を描く理由

LeHo氏の作品には動物が描かれているのが特徴です。「動物は情報、人間の感情、物語を運ぶ存在だと思っています」と話すLeHo氏。「動物は鑑賞者とアートをつなぐ手段です。動物に出会うと、動物は好奇心を持ったり、怖がったり、喜んだりといった反応を示します。しかし、人間はそうではなく、読めないところがあります。人とわかり合えないのはとても寂しいことです。だから、動物を作品の中に登場させることで、鑑賞する人と作品との間につながりを育もうとしています」。

ストリートアートとパブリックアートの出会い

2017年以降、LeHo氏は台湾各地で少なくとも14作以上のウォールアートを描きました。その大半は高雄と台北です。「正直なところ、私は自分をストリートアーティストとパブリックアーティストの中間だと思っています」とLeHo氏は語ります。「ストリートアートは自分自身の表現であり、絵を通じてメッセージを伝えます。一方パブリックアートは、そこにサービスの要素が加わります。作品が周囲に及ぼす影響や環境をどう改善できるかを第一に考えなければいけません」。

その一方で、LeHo氏が描く作品は地域のストーリーからインスピレーションを得ているため、自身を単純なグラフィティアーティストとは捉えていないそうです。「ストリートアートとグラフィティアートはよく混同されます。グラフィティは文字がメインのアートです。レタリングや文字を特定の様式に合わせる点にクリエイティビティを発揮します」とLeHo氏は解説します。例えば、LeHo氏と同年代であるCreepy Mouse氏が台南索卡芸術センターで展示している漢字をゴシックスタイルで表現した作品がグラフィティとなります。

ヒップホップから生まれたグラフィティ文化

「私のスタイルが本物のヒップホップだと言うつもりはありませんが、グラフィティアートとストリートアート、ヒップホップ文化の関係の理解は重要です。ヒップホップ文化はブレイクダンス、グラフィティ、ラップ、そしてDJの4つの要素で構成されています」とLeHo氏。

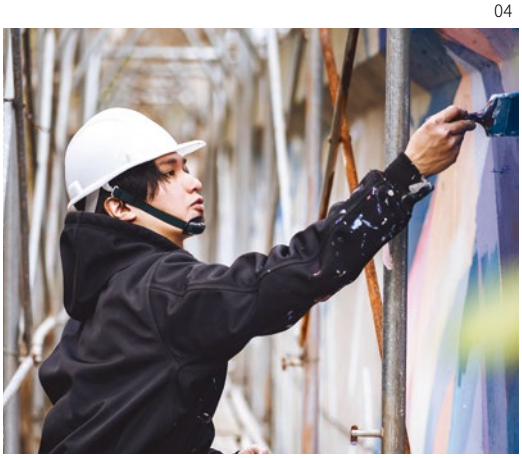
最も原始的なグラフィティは、数千年前にまでさかのぼることができます。しかし、ヒップホップのグラフィティやストリートアートは、20世紀半ばにアメリカで生まれたものです。フィラデルフィアの黒人が多く住む地域で生まれ、後にニューヨークでも誕生しました。手頃な価格のスプレーが販売されるようになると、世の中から弾かれてきたアーティストたちは、地下鉄の列車にデザインを吹き付ける「ボミング」を始め、街中で作品を展示するようになったのです。このスタイルは、やがて電車から他の屋外の空間へと伝播しました。

ヒップホップ文化、グラフィティ、ストリートアートが台湾に上陸したのは、ファブ・ファイブ・フレディやフューチュラ2000といった先駆者の作品が国際的に広まった後の1990年代に

入ってからです。ヒップホップはすぐに地元で人気を博しましたが、それはアメリカのヒップホップとはまったく異なるコミュニティの中で誕生しました。台湾のグラフィティアーティストやストリートアーティストは、ほとんどが若く中流階級、アートに関するバックグラウンドを既に持っていた人たちです。そのため、ストリートアートやグラフィティは、社会批判よりも芸術性を披露するための手段となったのです。しかし、合法的にアートを描ける場所がないため、多くのアーティストがアンダーグラウンドな活動をしていました。それから10年ほどの間にストリートアートやグラフィティは人々に受け入れられるようになり、政府は台北市に多くのグラフィティ特区を設置。これにより違法なグラフィティは減少していきました。

03

04



03. どんな場所にもその地を表す動物や霊獣がいると信じているLeHo 氏は、自身の作品がその地域の人たちを守ってくれることを願いながら創作活動を続けています。(写真 /@kevintsg)

04. LeHo 氏にとって絵を書くことは、台湾のストリートアートを世界中に広める最高の手段です。(写真 /@tw_ghostcat)

05

06

台北の堤防を鮮やかにする

「現在の台北ではアートを描く機会がたくさんあります」とLeHo氏は言います。西門町にある台北市映画主題公園はイチオシの場所のひとつで、台北新画堤のようなパブリックアートプロジェクトにも参加しています。さらに最近では、MRT古亭駅近くの中正河浜公園の堤防沿いにダイナミックなデュオトーンのウォールアート「蛍橋雁」を描いています。

台北新画堤の目的は、ストリートアートを通じて地元のストーリーを伝えることです。「蛍橋雁」では、歴史から失われてしまった台北の一部を蘇らせることを目指したと語っています。日本統治時代、中正河畔は川端町、現在は蛍雪里と呼ばれ、ホタルの名所であるとともに、雁（ガン）の生息地でもありました。「現在はすっかり変わってしまったので、80年前の春夏の夜の雰囲気を再現したいと思いました」。

台北新画堤プロジェクトの一環ではありませんが、LeHo氏が特に思い入れを持っているのが、中山区大佳河浜公園の大直橋の近くに描いた「交織」という作品です。「実践大学の近くに住んでいた頃この場所で多くの時間を過ごしました」と振り返ります。

このウォールアートは髪の毛が鳥になっている女性の肖像画であり、人間の感情の複雑さを隠喩で表現しています。「私たちは動物に多くの意味を見いだすので、それを作品に組み込むことで作品の深みが増します。これこそが、私が動物を描くのが好きなもうひとつの理由です。鳥は自由を、ウサギは気力やエネルギーを、牛は強さを表しています。こうした特徴は私たちも持つことができるので、作品を通じて自分も同じように自由に、エネルギッシュに、強くなれるのだと感じてもらえたら嬉しいです」。

05. LeHo氏の作品「蛍橋雁」の設定では、いなくなったホタルが雁に姿を変え、地域の住民たちを守っています。

06. 動物を使って人間の感情を表現するLeHo氏は、複雑に絡みついた髪のような時も、舞い上がった髪のような時も、人々が自身の感情を受け入れることを望んでいます。

外国人が住みやすい街「台北」

多言語サービスの進化

文：Rick Charette　**編集：**下山敬之
写真：Yenyi Lin、 台北表演芸術中心、台北ミュージックセンター、Taiwan Scene、台北市商業処、台北市政府観光伝播局

過去数十年の間に台北は優良都市へと成長を遂げ、各国際指数においてアジアの都市の中で旅行者が最も安心できる旅行先となりました。ビジネスが盛んであることに加え、自然豊かなスポットへのアクセスが簡単、文化も非常に魅力的、さらに地元の人々が温かくフレンドリーで、外国人が旅行や移住するのに最適な都市です。

ここに至るまで台北市政府は市のインフラや観光地、公共施設、オンラインリソースを継続的に改善してきました。中でも特に力を入れたのが多言語化の対応です。

本記事では台北の国際化と外国人が住みやすい街を実現するためのキーパーソンの一人である周台竹（ジョウ・タイジュー）氏へのインタビューを行いました。外交部より出向されている周氏は台北市市長室渉外事務総監を務めています。

01. 多様性のある文化を持つ台北では、各施設やイベントにおいて
多言語化を推進しています。(写真 /Taiwan Scene)

01

02

02. 外交経験が豊富な周台竹総監は、自身の職務を活かして台北の多言語化を推進しています。(写真 /Yenyi Lin)

多言語化を目指して

周氏は国際都市を目指す城市外交4.0構想が台北で始まったのは、2020年10月からであると語ります。「これは台北市、関連政府機関、国際商業会議所などの国際機関が関わっているプロジェクトで、『友好的な交流』をテーマに、長期的な関係を構築することが目的です。そのために頂いたご意見は、国際都市化と多言語化に大きく役立てています」と周氏は補足します。

プロジェクトの問題点について、周氏はこう話します。「インフラや教育資源といった社会的能力を見ると、今のところ台湾で完全な多言語サービスを推進できる自治体は存在しません。現在はまだ中国語と英語によるバイリンガル対応の段階です。これが最も需要がありますし、最も簡単だからです」。周氏によれば、台北では多言語化を広めるために、英語による授業の推進を始めたそうです。今年は210校の小中学校のうち79校がこれを導入。台北市では2026年までに導入率を100%に引き上げ、長期的には台北が北アジアにおけるマルチリンガル都市の先駆けになることを目指しています。

台北旅行における言語の多様化

周氏が目指しているのは基本サービスを全て多言語化することです。「オンラインサービスを多言語化することで、観光客も台湾旅行の計画に関する情報が得やすくなるという利点があります。私たちが運営する『台北旅遊網』というサイトは9か国語に対応していて、人気のイベントや旅館、ホテル、グルメ、その他の役立つ情報を提供しています。季刊《TAIPEI》には旅行や文化に関する興味深い記事が英語と日本語で掲載されているほか、雑誌版と電子版を発行しています。台北に関するイベントやスポット、ライフスタイルを特集している同誌は、海外の読者と台北をつなぐ窓口の役割を果たしていると言えるでしょう」。

また、台北に短期・長期滞在する外国人が、より快適で便利な生活を送ることができるよう、英語やその他の言語によるサービスを展開しています。交通機関については「現在、英語表記の看板が市内にたくさんあります。また、台北MRTでは、駅名を英語でアナウンスしていますし、駅構内の案内図やホームに掲示されている到着時刻案内なども英語で表示されているので便利です。バス停

にはバスの路線番号や到着時間、天気予報などを英語で表示する大型電光掲示板を設置しています」と周氏は説明します。

加えて、主要都市の観光名所に関する公式サイトでは、英語以外の言語による表記が増えています。現地の案内板や観光ガイドなどは英語が多いですが、日本や韓国など特定の国の人たちに人気のスポットでは各言語に対応したパンフレットを用意しています。例えば、北投温泉博物館は公式サイトとガイドツアーが日本語に対応しているなど。また、瓶蓋工場台北製造所や故宮博物院、台北ミュージックセンターなどの観光スポットでは、英語によるガイドツアーが行われています。周氏は「台北ミュージックセンターの多言語対応オーディオガイドは大変便利です。位置情報を検知して来場者それぞれに合った展示物の情報を自動で提供するこのシステムは、私が経験したどの音声ガイドサービスよりも高性能でした。これは台北初の試みであり、今後は他の場所でも導入する予定です」と語っています。

台北は毎年恒例のお祭りやスポーツ大会、展示会など大規模な国際イベントが豊富です。こうしたイベント情報も公式サイトに英語やその他の言語で掲載されます。例えば、数十万人が訪れる台北ランタンフェスティバルでは、オンライン上及び会場にて英語と日本語による情報が提供されています。そのため、各国の駐在員事務所や台北市の姉妹都市、インターナショナルスクールなど多くの国際団体がランタンの展示やパレードなどに参加することができます。また、多言語化されたサービスによってイベントが楽しめるだけでなく、台湾のランタンフェスティバルの文化的な意義を深く理解することもできるのです。

夏に開催される国際的なイベントには、8月に開かれる台北芸術祭と台北芸穂祭があります。「パンデミックを考慮し、特定のイベントはオフラインとオンラインを複合した構成へと転身しました。台北ランタンフェスティバルや台北白晝之夜などはその代表例です。この方法であれば現地にいかずともイベントに参加し、素晴らしいパフォーマンスが体験できます」と周氏は述べています。

03. バイリンガルサービスを提供しているお店は、入り口のこのような表示がされています。(写真 / 台北市商業処)

04. 台北流行音楽中心の展示物は 2 ヶ国語による紹介がされています。(写真 / 台北ミュージックセンター)

03

04

05. 毎年開催されている台北マラソンは各国のランナーが参加する国際的なイベントです。(写真 / 台北市政府観光伝播局)

06. 台北は継続的に国際的な文化イベントを主催し、世界中のアーティストたちと提携しています。(写真 / 台北表演芸術中心)

05

未来を見据えて

台北市の多言語化は、城市外交4.0構想の多文化共生推進と密接に関連していて、その中心には「友好的な交流」があります。これは国際間の支援を意味しています。「ここ最近ではウクライナ危機を受け、台湾政府はヨーロッパの自由都市協定への支援を行い、さらにウクライナの市民を巻き込んだ『民主の壁』というイベントを台北市庁で開催しました」と周氏は説明します。実際、この行動によって台北は国際社会間にさらなる絆を生み出しました。

また、台北市は海外の駐在員事務所や商工会議所と文化イベントを共催し、台北の多様性をアピールしています。「昨年はジャーマンクリスマスマーケット、マスカラフェスティバル、ロイクラトン祭りなど合計18のイベントを開催しました。これらは今後も力を入れていく予定です」。

台北は多言語や文化の多様性を取り入れたインフラや街づくりの戦略により、世界中の人々を受け入れられる「外国人が住みやすい街」の実現に向けて確かな一歩を踏み出しています。

06

写真 / @uu4uur

台北のリバーサイドパークではアーティストの創造性と熱意が込められた作品が見られます。
@中正河浜公園

01

01. スパイシーな料理を食べることで発汗を促し、暑さを軽減することができます。(写真 /Shane Kong)

夏に最適なスパイシー料理

文：AYCC　**編集：**下山敬之　**写真：**April Chen、Shane Kong

暑くて日差しが強い台北の夏に対抗する最高の手段は、スパイシーな料理を食べることです。今回は暑さを乗り越えられる最高のグルメをご紹介します。

辛い料理を食べると口の中が少しヒリヒリしますが、スパイスの効いた料理を食べると体の熱が下がることは科学的に実証された行為です。辛い料理を適度に食べると、汗が出る一方で血液の循環を促進して体内の熱を放出し、体温をコントロールすることができます。また、汗の蒸発によってカロリーも消費しますし、唐辛子は適量を摂取すれば老化防止や新陳代謝を促進するといった効果が得られます。

台北はスパイシー料理の種類が豊富で、夏の暑い日でも食欲を刺激します。唐辛子ベースのマイルドなスープや病みつきになる鍋料理まで、辛い料理は夏の最高の「スパイス」になります。

02

02-03. 漬物にした剥皮辣椒は、独特の風味を付ける目的でチキンスープに使用されます。

剥皮辣椒のチキンスープが食べられるお店

龍涎居好湯 永康店

住所 大安区永康街 10 巷 2 号
営業時間 11：30 ～ 21：00

ボーピーラージャオ
剥皮辣椒

唐辛子といえば赤くてスパイシーなイメージを抱く人が多いですが、台湾では青唐辛子が主流でさらに皮が剥かれています。この特殊な唐辛子は花蓮県にある鳳林鎮が元祖と言われています。「剥皮辣椒の父」と言われる陳秋金氏は元々唐辛子の漬物が好きでしたが、皮が残っているせいで食感が良くないと感じ、そこから皮を剥いた剥皮辣椒が誕生しました。

剥皮辣椒の作り方は青唐辛子の皮を剥き、醤油とお湯、紹興酒、料理酒で炒めます。熟した赤い唐辛子よりも香りが強いため、スープや野菜炒めに適しています。また、新鮮な青唐辛子はふっくらとした形とみずみずしさが特徴で、辛味よりも甘味が強いです。台湾で剥皮辣椒を使用した定番の料理といえば唐辛子をふんだんに使用したチキンスープ。スライスした生姜と干し椎茸、料理酒、鶏もも肉を使って煮込んだスープは、辛い料理が得意ではない方でも美味しく食べられますし、暑い日の前菜として人気があります。

03

04

05

ラー油

ラー油は台湾の家庭では一般的な調味料です。種類も豊富で、地域によって様々な唐辛子を使用したラー油が存在します。中でもよく使用されるのが四川朝天椒。これに黒コショウ、八角、玉ねぎ、にんにく、生姜、砂糖といった材料を加えて、大豆油やごま油などの植物油で揚げることで香り豊かなピリ辛のラー油が完成します。

台湾料理の味付けによく使われるラー油ですが、大衆向けの料理で人気があるのは紅油抄手（ホンヨウチャオショウ）です。抄手はワンタンを意味していて、主に四川方面でこのように表記されます。紅油は中国語でラー油という意味で、料理名を直訳するとラー油ベースの四川風ワンタンとなります。これは作り方もシンプルであることから一般的によく食べられます。また、ラー油はソースとしても使用されることがあります。焼いたチャーシューにかければ、醤油、黒コショウ、ニンニクの香りが食欲をそそること間違いなし。他にも麺類との相性が非常に良く、紅油担々麺や紅油炸醤麺（ジャージャー麺）などバリエーションが豊富です。ラー油は数滴たらすだけで屋台料理を何倍にも美味しくしてくれる最高のスパイスです。

04-05. 四川朝天椒をベースにしたラー油を見ると、様々な香辛料を用いて作られていることがわかります。

ラー油を使った料理が食べられるお店

蘭芳麺食館

住所 中山区遼寧街 95 号
営業時間 11：30 ～ 21：00

06

07

06-07. 台湾で最も人気のある火鍋の種類は臭豆腐や鴨血の入った麻辣味です。

麻辣料理が食べられるお店

雲鼎阿二麻辣食堂 永康店

住所 大安区永康街 6 巷 13 号
営業時間 11：30 ～ 22：00

マーラー
麻辣料理

麻辣は辛味という意味で、台湾ではこれをベースとした料理が非常に人気です。麻辣の肝は四川山椒というヒリヒリとした刺激を与えてくれるスパイス。食べすぎると口の中が麻痺したように痺れてきますが、漢方においては「温」の生薬であり、風邪を治し体内の湿気を取り除くと言われています。この香りの強いスパイスは台湾の家庭料理には欠かすことができない存在です。

臭豆腐や鴨血というアヒルの血を固めた料理によく使用され、麻辣臭豆腐や麻辣鴨血という料理として振る舞われます。麻辣のスープで臭豆腐や鴨血を数時間煮込むことで、汗や涙が出るほど辛くなります。なので、これらの料理を注文する際にはティッシュの用意が必須です。ただ、多くのお店では辛さを調整できるので、最初は辛さを控え目にしておくのがよいでしょう。一般的には中レベルにすると辛さと旨味を最大限に楽しめます。それ以上は辛い料理が得意な人にしかおすすめできません。

夏の暑さを和らげる薬膳療法

文：Elisa Cohen　編集：下山敬之　写真：Plu Kaow、Samil Kuo、Taiwan Scene、dashu83、fanjianhua

うだるように暑い台湾の夏は、ついつい冷たい飲み物をがぶ飲みしてしまったり、クーラーの効いた部屋に閉じこもってしまいがちです。しかし、漢方を使った食事療法を実践すると、体内の水分や熱を取り除き、内側から心地よい涼感を作り出してくれます。

《TAIPEI》では、歴史ある大稲埕の中医学体験施設「德利泰（ダーリータイ）」を訪れ、創業者の陳清鈕（チェン・チンニョウ）氏から、お茶や料理に使える漢方や伝統生薬をご紹介いただきました。また、日常的な健康維持・管理に役立つ漢方の選び方のコツも合わせて紹介していきます。陳氏は漢方の用途やその背景にある伝統、食文化についてより多くの人に知ってもらうために、体験型の講座も複数開催しています。

01

02

日常的な漢方を知る

ナツメ、クコ、ハトムギ、ハスの実などは、台湾全土の漢方専門店で簡単に手に入ります。台湾の人たちは漢方のお店と聞くと、目もくらむような匂いが充満する、古くて陰気な店舗を連想しますが、徳利泰はこの印象を大きく覆しました。「興味を持ってもらうために、私たちは漢方を型破りな方法で使っています」と陳氏。

徳利泰では、明るく開放的な空間に様々な生薬を展示し、店内には水耕栽培のウォールガーデンを設置するなど、これまでとは全く異なるイメージで漢方について学ぶことができます。

陳氏によれば、漢方は種類が非常に多いそうです。薬草はもちろん、動物や石、琥珀から抽出したものも薬になります。また、シナモン、胡椒、唐辛子、八角、ナツメグなど、多くの身近な香辛料も薬とみなすことができるそうです。

「香辛料もまた漢方薬の一部でもあり、代謝や消化を助けるものが多いです」と陳氏は説明します。台湾では、スパイスを綿布に包んで肉料理や汁料理に入れて煮込み、その香りや効能を引き出すのが一般的です。一方、インドでは同様のスパイスを潰したり炒めたりして、さまざまな種類のカレーとしています。

実は、台湾の家庭料理には古くから健康増進効果のある食材が使われてきました。例えば、八角は煮込み料理に、アンゼリカはスープに入れて調理することで風味が増すだけでなく、体力増強にも効果を発揮します。徳利泰ではこうした昔ながらの習慣をもとに、日常に浸透した漢方を再認識してもらい、薬草や香辛料に親しんでほしいと考えています。

01. 体内の熱を発散するハーブティーを飲むことは台湾の伝統的な暑さ解消の方法です。(写真 /Taiwan Scene)

02. 天然の素材から抽出した漢方は日常的な不快感を緩和してくれます。

暑さ対策レシピ

「暑い日には冷たい飲み物を飲みたくなりますが、これは体に湿気を溜めやすくしてしまいます。代わりに花椒を摂ることで湿気を排出し、暑さを和らげることができます」と陳氏は説明します。

中国南西部の山岳地帯に自生する花椒（ホァジャオ）は、激辛で知られる四川料理の主役であり、その強烈で刺激的な香りと、舌に残るピリッとした清涼感が特徴です。花椒には発汗作用があるため、食べると体内の湿気や淀みを排出してくれます。また、肉を焼いたり、野菜を炒めたりするときに胡椒を振りかけると、味が引き締まるだけでなく、発汗を促して体の熱を冷ますことができます。

桑の葉も夏に食べるべき食材です。これを乾燥させて練ったものは、抹茶のようにすがすがしく香るお茶となり、乾燥や暑さを和らげ、むくみを解消してくれます。陳氏によれば、桑茶だけでなく桑の木も栄養価が高いのだそうです。甘酸っぱい桑の実は、食物繊維や鉄分を豊富に含むため、血液に栄養をもたらし、新陳代謝を高める効果が期待されます。

さらに、ドクダミには抗炎症作用があるため、体内の熱を下げ、痛みを緩和させる作用があるのです。ドクダミはお茶にして飲むのが最も一般的で、ミントを加えると清涼感がさらに増し、暑さを和らげながらリフレッシュすることができます。加えて、独特の薬草の香りが油っこさを消してくれるので、お茶にして飲むだけでなく、スープに入れたり、刻んで卵と一緒に炒めたりすることもあります。

また、陳氏は健康維持の秘訣について、「タピオカティーを飲む量を減らして、代わりにハーブティーを飲むといいですよ」と話します。台湾にはドリンクスタンドが多く、ノドが渇くとついつい買ってしまいがちですが、もっと健康的な選択肢があることを忘れないようにしましょう。

03

04

05

03. どくだみ、桑の葉で淹れたお茶は夏の暑さを和らげることができます。(写真 /Plu Kaow)

04. 德利泰の創業者である陳清鈕氏は、どの漢方が日常生活のどういった場で応用できるのか教えてくれました。

05. 德利泰では現代人のニーズに合わせ、様々な組み合わせのお茶を提供しています。

06. 德利泰では多様な漢方の起源と応用についての知識を学ぶことができます。

06

漢方薬を選ぶ際のヒント

漢方薬を購入する際に気を付けるべきことは何かという問いに対して、陳氏は一般の人々が信じている迷信をいくつか挙げてくれました。「素材は大きい方が良い、白い方が良い、というように見た目で選ぶお客さんが多いのですが、漢方はそういう選び方をしてはいけません」。トウキのような根茎性の薬草の場合、自生している植物の形は不揃いです。特に大きなものは、脱水して加工することもありますが、その過程で大量の栄養素が失われてしまいます。また、天然のハーブを真っ白にすることはほぼ不可能です。不自然な白色や赤色の製品はほぼ全て、人工的に漂白や染色が施されたものです。例えば、天然の花椒は濃い茶褐色をしています。不自然に鮮やかな色をしている場合は、人工的に染色されているかもしれません。

また、德利泰では薬草の日常的な利用を普及させるため、外観が似たものを集めたコーナーを設置し、お客さんがじっくりと比較して、違いを見分けられるようにしています。陳氏は「人々がもっと漢方薬を親しみ、先祖代々受け継がれてきた知識と伝統を継承してほしいです」と将来的な希望とビジョンを語ってくれました。

德利泰

住所 大同区甘谷街 26 号

営業時間 10：00 ～ 18：00（日曜定休）

▶ **德利泰サイト**

対話式の漢方体験

漢方薬の応用を推進する德利泰では、台北市商業處の指導のもと、一般の人々に漢方の知識を広めつつ、さらに外国人旅行者に現地の食事療法文化を体験できるイベントを開催しています。ここでは、外国人が漢方の基本を理解できる楽しくて参加しやすい３つのアクティビティをご紹介します。

1 薬籤文化

台湾のお寺によく置かれている竹製おみくじと、対応する数字が書かれた札は、自分の病気に合った治療法を見つけるために使われています。

陳氏によると、医療が発達していなかった古代、不調に悩む人々は寺院で神々に祈って薬籤を受け取り、治療薬を処方してもらっていたそうです。おみくじに書かれた治療薬のほとんどは、当時の人々がよくかかっていた病気の治療に使われていたものです。例えば農耕社会には、農作業に関連する体調不良が蔓延していたため、薬籤にはそれに応じた処方箋が書かれていました。德利泰が提供する薬籤は、1 日のうちに座っている時間が長かったり、パソコンや携帯電話を長時間見つめる生活、不規則な食生活など、現代人の悩みに対処するために作られています。

（写真 /dashu83）

2 処方

予約制で行っている処方体験は伝統的な薬杯を使って、レシピの割合通りにさまざまな薬草を量り、紙に包む行程を体験できます。徳利泰では、昔ながらな処方 ・ 調剤が体験できるよう、当時の器具を使い続けています。

3 食事療法体験セミナー

不定期開催のこのセミナーでは日常的な健康維持のためのアドバイスや、漢方素材を使った健康料理、お茶の作り方を紹介するなど、一般の人々にも漢方の日常的な活用法を伝えるための活動を行っています。

（写真/fanjianhua）

LP レコード転写技師という仕事

文：Catherine Shih　編集：下山敬之　写真：Yenyi Lin

デジタル技術が普及し、ストリーミングによる音楽視聴が当たり前になった現代人にとって、蓄音機で LP レコードを再生していた時代は想像がしにくいことでしょう。ここ台北には LP レコードの普及と転写に生涯を捧げている人物がいます。それが MRT 明徳駅近くにある「古殿楽藏」の創設者である王信凱（ワン・シンカイ）氏です。

SPレコードとLPレコードの違い

SPレコードはそれほど知られていませんが、LPレコードよりもはるか昔から存在していました。「SPは『LPの父』とも言える存在です」と王氏は話します。「SPの技術は、1890年代後半から1900年代半ばの蓄音機時代に発展を始めました。ただ、SPレコードが誕生した当初は、1枚に1曲しか収録できませんでした。また、大変脆い素材だったため、何度も再生すると壊れてしまいました。しかし、プラスチックの普及により、私たちの知るレコードが誕生したのです。とはいえ、見た目はそのままで、変わったのは素材と技術だけです」。

その後、カセットテープの時代を経て、CDが一般的な音楽メディアとなるなどデジタル可が進みます。テクノロジーが日々進化する中で、音楽の聴き方も変わり続けています。「最近ではネット上での音楽配信が一般的で、CDすら時代遅れになり始めています」と王氏は教えてくれました。

01

01. 王信凱氏は台湾における数少ない LP レコード転写技師として、歴史的な音源を後世に残す使命を背負っています。

台北のLPレコードの歴史

SPは1910年代に台湾に到来し、普及し始めました。レコード産業は1960年代から1970年代に最盛期を迎えましたが、高額であることや曲のジャンルがマイナーであったことから、ニッチな市場にとどまっていました。「大半のレコード店は台湾大学のある公館エリアに集中していました。台湾大学の教授はレコード好きな方が多く、さらに高額なレコードを購入する余裕もありました」と王氏は振り返ります。

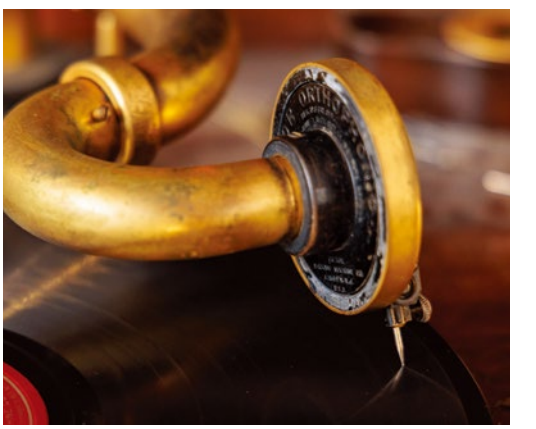
顧客層は値段を気にしないレコード愛好家の人たちが大半でした。「台湾大学の近くにあった玫瑰唱片というお店は、海外に人を送ってクラシックのレコードを輸入していました。欲しいレコードが探しやすい場所でしたが、すぐに売り切れていたのが印象的です」。

LPレコード転写技師の仕事

この仕事を選んだ経緯を伺うと、王氏はこう話してくれました。「もともとラジオや音楽を聴くのが好きでした。大学時代に昔の録音技術に触れる機会があったのですが、実際にその音を聴いて、歴史に命が宿ったような感覚がありました。それがきっかけでレコード盤の転写を始めるようになったのです」。

SPやLPの盤面には溝が刻まれていますが、王氏はこの技術の原理についても説明してくれました。「レコードを置くターンテーブルにはスタイラスという針があり、音の波はレコードの黒いフィルムの表面に直接刻まれています。針が溝をなぞって振動が起きることで、その音がレコードを通じて再現されます。それによってデジタル処理が一切されていないアナログな音を聞くことができます。私の仕事は、こうした歴史のある音源を転写して保存することです。そのため、私は『LPレコード転写技師』と名乗ってい

02



03

04

02-03. 1920年代に制作された蓄音機は王氏の秘蔵コレクションの1つで、ターンテーブルからスタイラスに至るまで良好な状態で保存されています。

04. シェラック盤は脆く壊れやすいですが、貴重な音源が数多く記録されています。

ます。すでに海外では取り組んでいる人がたくさんいるのですが、台湾ではまだまだ新しいコンセプトです」。

レコードの脆弱性を考えると、価値のある貴重な音源はすべて保存すべきであると王氏は指摘します。「歴史の教科書は何度もページをめくっていくうちに、だんだんと傷んでいきます」。多くの博物館では貴重な史料をデジタル化して観賞用とし、原本は大切に保管するようになっています。レコードの転写もこれと同じです。「ずっと聞き続けるとレコードの盤面が劣化するので、長期間に渡って鑑賞できるように、私たちは音源をデジタル化する活動を行っています」。

レコード盤転写の工程

「正直、転写は難しいものではありませんが、一部で困難なこともあります」。王氏によれば、レコードの転写方法に決まった工程はなく、それぞれ異なる方法や機材が使われるそうです。「当初はゼロから転写を試みました。プロの録音技術を学んだことがなかったので、ターンテーブル、レコード、パソコン、マイクという非常に初歩的な機材でスタートしました」。王氏の目標は大音量で再生したレコードを転写するという非常にシンプルな内容でしたが、実際には試行錯誤の連続でした。

「私はこの仕事をネガフィルムによる写真撮影に例えています。従来のカメラは撮影者がフレーミングし、ピントや照明を調整してシャッターを押していましたし、露光量の計算や現像液を調整しながら写真を完成させていました。満足がいかなければ、何がまずかったのか？どう調整すべきだったのか？と自問します」と王氏は話します。写真のクオリティを高めるように転写もひたすら同じ工程を繰り返します。ひとつひとつの作業が音質に影響するので、常に細かな調整が必要です。特に王氏はマイクの距離や配置を何度も変えます。「最適な音を拾えるよう、マイクの位置や角度を工夫します。挑戦して、失敗して、また挑戦することが私の日課と言っても過言ではありません」。

レコード盤転写の難しさ

王氏はこの業界で働くことの難しさを教えてくれました。「かつて戒厳令下の台湾では音楽や音源を大量にリリースすることができませんでした。また、当時の人々は貧しかったので純正のレコードには手が出せず、海賊版レコードが生まれました」。政府や音楽制作者は海賊版を規制しましたが、人々は他者の作品を録音することに悪い印象を持つようになりました。「そのせいでレコードの転写技師は、海賊盤を作る仕事と勘違いされるようになってしまったのです」。

また、著作権や近代法の形成も転写可能なコンテンツに影響を与えました。「台湾では50年以上前に出版されたレコードや、作詞者の死後50年以上経過したレコードは公共財産（著作権なし）となり、転写できるようになったのです。転写されたレコードの大半がクラシック音楽であるのもこうした背景があるためです」と王氏は言います。「著作権を守ることは大切ですが、多くの人たちが歴史的価値のある音源の保存に関しての理解が乏しいことが残念です。この仕事が文化や歴史を守ることにつながると知ってもらえたら、この業界に携わる人も増えると思います」。

台北でレコードを楽しむ

「昨今ではレコード関係のイベントや講演会がたくさんあります。新型コロナウイルスが蔓延するまでは、私のスタジオでも毎週金曜日の夜に様々なジャンルの音楽鑑賞イベントを開催していました。一時的に中止をしていましたが、最近では再開を計画しています」と王氏は話します。

「他にも多くのレコード愛好家たちが開くワークショップやセミナー、読書会もあります。例えば、私の友人が経営する『十方音楽劇場＆瑪多咖啡演奏庁』というお店では、ミュージカルやリサイタルなどを楽しむ人たちが

集まります。私もよくそこでLP鑑賞セッションを開催しています」。

また、王氏はお宝LPを探せる秘密のスポットを紹介してくれました。「双連駅エリアにある韻順唱片がオススメです。1990年から続いている主は海外からあらゆるレコードを台湾に持ち帰ってきたパイオニアの一人です。他にも三創生活園区や誠品書店には観光客向けのレコードコーナーがあります。ぜひ台北でお宝を発掘してみてください！」

05

05-06. 王氏の運営する古殿楽蔵は転写を行う空間であり、彼が転写したクラシック作品を展示している場所でもあります。

古殿楽蔵

住所	北投区西安街一段 169 号 2 階
営業時間	要予約
電話	0975-057467

06

TRAVEL INFO
旅のお役立ち情報

台北 MRT

営業時間：06:00 ～ 24:00　**24 時間お客様専用ダイヤル：**(02)218-12345

切符：

IC トークン (片道切符)
NT$20 ～ 65

MRT 1 デイパス
NT$150

24時間パス
NT$180

48時間パス
NT$280

72時間パス
NT$380

電子マネー：

チャージするだけで MRT(都市交通システム) など公共交通機関やコンビニエンスストア、特約商店での小額決済ができます。レンタサイクルの YouBike にも使えます。購入は MRT やコンビニなどの取扱店で。

EasyCard

iPASS

バス情報

乗車運賃：

大人：現金、EasyCard いずれも 1 区間ごとに 15 元

学生：現金は 1 区間ごとに 15 元、EasyCard の場合は 1 区間ごとに 12 元
(学生証の提示が必要)

身長 115cm 未満あるいは満 6 歳の小人 ：身分証がある場合は無料

バスの路線情報：

Taipei eBus
ebus.gov.taipei

YouBike 情報

YouBike は台北市の公共レンタサイクルで、EasyCard やクレジットカードでレンタルが可能です。利用料金は 30 分ごとに発生し、レンタル時間の長さによって変動します。詳細は以下を参照してください。

30 分以内	30 分 ～ 4 時間以内	4 時間 ～ 8 時間以内	8 時間以上
5 元	30分ごとに 10 元	30分ごとに 20 元	30分ごとに 40 元

YouBike のレンタル会員になりたい方は、こちらのページよりご登録ください：**youbike.com.tw/region/taipei/register/**

北北基おもしろカード

12 の素敵な観光地＋交通機関乗り放題の「無限周遊カード」、交通機関乗り放題の「観光スポット周遊カード」、「交通周遊カード」の 3 種類。有効期限内に台北市と新北市、基隆市を思う存分遊ぶことができます。

無限周遊カード
有効期間は
1 日 /2 日 /3 日券
NT$1,200/1,600/1,900 元

観光スポット周遊カード
2 日 /3 日 /4 日券
NT$650/850/1,050 元

交通周遊カード
有効期間は
1 日 /2 日 /3 日 /5 日 /
猫空ロープウェー 1 日券
NT$180/310/440/700/350 元

旅のインフォメーション

交通部観光局24時間対応、無料の旅行情報ホットライン： 0800-011-765
外国人在台生活相談：1990
台北市民ホットライン：1999（市外 02-2720-8889）
台北トラベルネット：travel.taipei/ja
(中、英、日、韓、タイ語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語による市内観光情報)

台北市ダブルデク観光バス
TEL: (02)8791-6557 EXT. 30

各交通機関や施設の営業時間については、利用前に HP などでご確認ください。

24TH Film Festival

TAIPEI

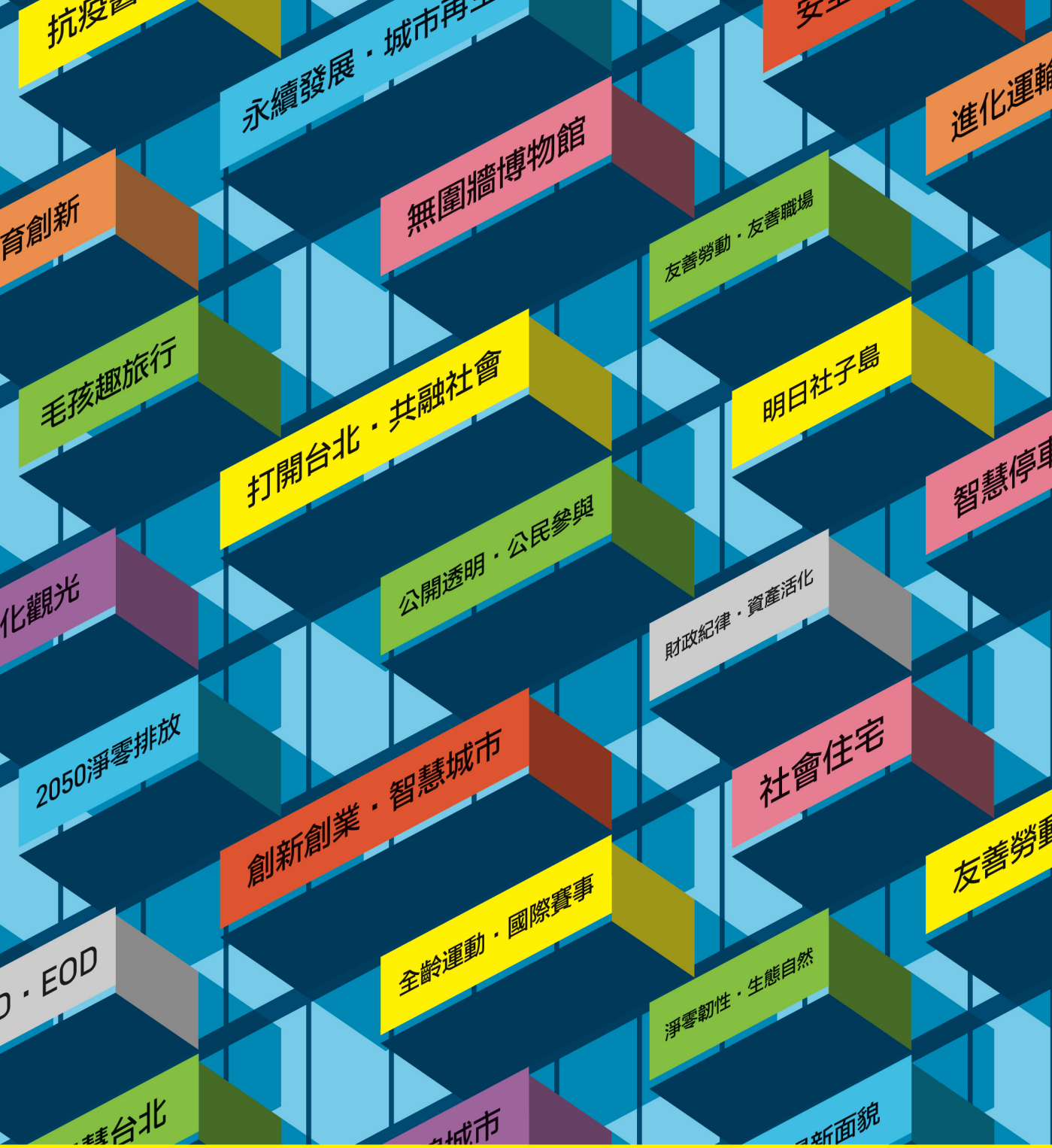
2022.6.23——7.9

台北電影節

台北市中山堂　信義威秀影城　光点華山映画館

後援团体 臺北市政府 文化部 影視及流行音樂產業局

共催团体 台北市文化局 台北市文化基金會 Taipei Culture Foundation 台北電影節 TAIPEI FILM FESTIVAL



台北城市博覽会 TAIPEI EXPO

2022.08.27 (土) ⟶ 09.11 (日)

花博公園爭艷館
Taipei Expo Park - Expo Dome

台北の未來・THE FUTURE IS NOW

主管団体 OFFICIAL ORGANIZER：台北市政府 TAIPEI CITY GOVERNMENT ｜ 主催団体 EXECUTIVE ORGANIZER：台湾設計研究院 TAIWAN DESIGN RESEARCH INSTITUTE